ユーザー ガイド

© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel および Centrino は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。SD ロゴは、その所有者の商標です。Java は、米国 Sun Microsystems, Inc.の米国またはその他の国における商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2013 年 11 月

製品番号：738836-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

Windows のエディションによっては利用できない機能があります。このコンピューターで Windows の機能を最大限に活用するには、アップグレードされた、または別売のハードウェア、ドライバー、またはソフトウェアが必要になる場合があります。

このガイドに記載されている内容の最新情報を入手するには、HP のサポート サイトを確認してください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店に問い合わせてください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** 低温やけどをするおそれがありますので、ひざなどの体の上にコンピューターを置いて使用したり、肌に直接コンピューターが触れている状態で長時間使用したりしないでください。肌が敏感な方は特にご注意ください。また、コンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターが過熱状態になると、やけどやコンピューターの損傷の原因になる可能性があります。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

目次

1 ようこそ 1
情報の確認 2

2 コンピューターの概要 4
上面の各部 4
タッチパッド 4
ランプ 5
ボタンおよび指紋認証システム（一部のモデルのみ） 6
キー 8
右側面の各部 9
左側面の各部 11
ディスプレイの各部 12
裏面の各部 13

3 ネットワークへの接続 14
無線ネットワークへの接続 14
無線コントロールの使用 14
無線ボタンの使用 15
オペレーティング システムの制御機能の使用 15
無線 LAN の使用（一部のモデルのみ） 15
インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用 16
無線 LAN のセットアップ 16
無線ルーターの設定 16
無線 LAN の保護 17
無線 LAN への接続 17
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ） 18
SIM カードの装着および取り出し（一部のモデルのみ） 19
GPS の使用（一部のモデルのみ） 20
Bluetooth 無線デバイスの使用（一部のモデルのみ） 20
有線ネットワークへの接続（別売のドッキング デバイス経由） 21

ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続 21

4 キーボード、タッチ ジェスチャ、およびポインティング デバイスを使用した操作 22
ポインティング デバイスの使用 22
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ 22
タッチパッドの使用 22
タッチパッドのオフ/オンの切り替え 23
タッチパッド ジェスチャの使用 23
タップ 24
スクロール 25
ピンチとストレッチによるズーム 25
回転（一部のモデルのみ） 26
2 本指クリック（一部のモデルのみ） 26
フリック（一部のモデルのみ） 27
エッジ スワイプ（一部のモデルのみ） 27
右端からのスワイプ 27
上端からのスワイプ 28
左端からのスワイプ 29
キーボードの使用 30
Windows のショートカット キーの使用 30
ホットキーの位置 31
テンキーの使用 32
内蔵テンキーの使用 32
内蔵テンキーのオン/オフの切り替え 33
内蔵テンキーの機能の切り替え 33
別売の外付けテンキーの使用 33

5 マルチメディア 34
オーディオ 34
スピーカーの接続 34
音量の調整 34
ヘッドフォン/マイクの接続 35
コンピューターのオーディオ機能の確認 35
Web カメラ（一部のモデルのみ） 36
動画の視聴 36
VGA（別売のドッキング デバイス経由） 37
DisplayPort 38
インテル ワイヤレス・ディスプレイ（一部のモデルのみ） 38

6 電源の管理 39
コンピューターのシャットダウン 39
インテル スマート・コネクト・テクノロジーによるソフトウェア内容の更新（一部のモデルのみ） 40
電源オプションの設定 40
省電力設定の使用 40
スリープの開始および終了 40
ユーザー起動のハイバネーションの、有効化および終了 41
電源メーターおよび電源設定の使用 41
復帰時のパスワード保護の設定 41
バッテリ電源の使用 42
出荷時に装着されているバッテリ 42
バッテリに関する詳細情報の確認 42
[HP バッテリ チェック]の使用 43
バッテリ充電残量の表示 43
バッテリの放電時間の最長化 43
ロー バッテリ状態への対処 43
ロー バッテリ状態の確認 43
ロー バッテリ状態の解決 44
バッテリの節電 44

7 外付けカードおよび外付けデバイス 45
microSD メディア カードの使用 45
メディア カードの挿入 45
メディア カードの取り出し 45
スマート カードの使用（一部のモデルのみ） 46
スマート カードの挿入 46
スマート カードの取り出し 47
USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用 47
USB デバイスの接続 48
USB デバイスの取り外し 48
別売の外付けデバイスの使用 49
別売の外付けドライブの使用 49
ドッキング コネクタの使用 50

8 ドライブ 52
ハードドライブの使用 52
ハードドライブ パフォーマンスの向上 52
[ディスク デフラグ]の使用 52

[ディスク クリーンアップ]の使用 53

9 セキュリティ 54
コンピューターの保護 54
パスワードの使用 55
Windows でのパスワードの設定 56
[Computer Setup]でのパスワードの設定 56
BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）の管理 56
BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）の入力 58
[Computer Setup]の DriveLock パスワードの管理 58
DriveLock パスワードの設定 59
DriveLock パスワードの入力 59
DriveLock パスワードの変更 60
DriveLock による保護の解除 60
[Computer Setup]の自動 DriveLock の使用 61
自動 DriveLock パスワードの入力 61
自動 DriveLock による保護の解除 62
ウィルス対策ソフトウェアの使用 62
ファイアウォール ソフトウェアの使用 63
緊急セキュリティ アップデートのインストール 63
[HP Client Security]の使用（一部のモデルのみ） 63
別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続 64
指紋認証システムの使用 65
指紋認証システムの位置 65

10 メンテナンス 66
コンピューターの清掃 66
清掃手順 66
ディスプレイの清掃（オールインワンまたはノートブック コンピューター） 67
側面またはカバーの清掃 67
タッチパッド、キーボード、またはマウスの清掃 67
プログラムおよびドライバーの更新 67
[HP SoftPaq Download Manager]（HP SoftPaq ダウンロード マネージャー）の使用 68

11 バックアップおよび復元 69
情報のバックアップ 69
システムの復元の実行 69

Windows リカバリ ツールの使用 70
f11 リカバリ ツールの使用 71
Windows オペレーティング システムのメディア（別売）の使用 71
Windows のリフレッシュまたは Windows のリセットの使用 72
[HP Software Setup]（HP ソフトウェア セットアップ）の使用 72

12 [Computer Setup]（BIOS）、マルチブート、および[HP PC Hardware Diagnostics]（HP PC ハードウェア診断）（UEFI） 73
[Computer Setup]の使用 73
[Computer Setup]の開始 73
[Computer Setup]での移動および選択 73
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元 74
BIOS の更新 75
BIOS のバージョンの確認 75
BIOS アップデートのダウンロード 76
マルチブートの使用 77
ブート デバイスの順序について 77
マルチブート設定の選択 77
[Computer Setup]での新しいブート順序の設定 77
f9 キーの画面を使用したブート デバイスの動的な選択 78
MultiBoot Express プロンプトの設定 78
MultiBoot Express 設定の入力 79
[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）の使用（一部のモデルのみ） 79
USB デバイスへの[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）のダウンロード 80

13 サポート 81
HP のサポート窓口へのお問い合わせ 81
ラベル 82

14 仕様 83
入力電源 83
動作環境 84

付録 A コンピューターの持ち運び 85

付録 B トラブルシューティング 87
トラブルシューティング情報 87
問題の解決方法 88

コンピューターが起動しない場合 88
コンピューターの画面に何も表示されない場合 88
ソフトウェアが正常に動作しない場合 88
コンピューターが異常に熱くなっている場合 88
外付けデバイスが動作しない場合 89
コンピューターを無線ネットワークに接続できない場合 89
別売の外付けオプティカル ディスクが再生されない場合 90
動画が外付けディスプレイに表示されない場合 90
別売の外付けディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合 90

付録 C 静電気対策 91

索引 92

1 ようこそ

コンピューターをセットアップして登録した後に、以下の手順を実行することが重要です。

- Windows®の新しい機能について詳しくは、印刷物の『Windows の基本操作』を参照してください。

ヒント： 開いているアプリケーションまたは Windows デスクトップからコンピューターのスタート画面にすばやく戻るには、キーボードの Windows ボタン を押します。Windows ボタンをもう一度押すと、前の画面に戻ります。

- **インターネットへの接続**：インターネットに接続できるように、有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、14 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください。
- **ウィルス対策ソフトウェアの更新**：ウィルスによる被害からコンピューターを保護します。このソフトウェアは、お使いのコンピューターにプリインストールされています。詳しくは、62 ページのウィルス対策ソフトウェアの使用を参照してください。
- **コンピューター本体の確認**：お使いのコンピューターの各部や特徴を確認します。詳しくは、4 ページの「コンピューターの概要」および22 ページの「キーボード、タッチ ジェスチャ、およびポインティング デバイスを使用した操作」を参照してください。
- **インストールされているソフトウェアの確認**：コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示します。

  スタート画面で「アプリケーション」と入力して**[アプリケーション]**をクリックし、表示されたオプションから選択します。コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれている場合やソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されている場合があります。

- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成して、ハードドライブをバックアップします。69 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。

情報の確認

コンピューターには、各種タスクの実行に役立つ複数のリソースが用意されています。

リソース	提供される情報
『セットアップ手順』（印刷物のポスター）	• コンピューターのセットアップ方法 • コンピューター各部の名称
『Windows の基本操作』ガイド	Windows を使用する際の基本情報
HP Support Assistant [HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します このガイドに記載されている内容の最新情報を入手するには、HP のサポート サイトを確認してください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	• オペレーティング システムの情報 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • トラブルシューティング ツール • HP のサポート窓口へのお問い合わせ方法
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このユーザー ガイドを表示するには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択し、**[マイ コンピューター]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 規定および安全に関する情報 • バッテリの処分に関する情報
『快適に使用していただくために』 このユーザー ガイドを表示するには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択し、**[マイ コンピューター]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または http://www.hp.com/ergo/ （英語サイト）から[日本（日本語）]を選択します	• 正しい作業環境の整え方、作業をする際の正しい姿勢、および作業上の習慣 • 電気的および物理的安全基準に関する情報
『サービスおよびサポートを受けるには』（日本以外の国や地域のお問い合わせ先については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください） この冊子はお使いのコンピューターに付属しています	HP のサポート窓口の電話番号
HP の Web サイト このガイドに記載されている内容の最新情報を入手するには、HP のサポート サイトを確認してください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	• サポートに関する情報 • 部品の購入とその他のヘルプの確認 • デバイスで利用可能なオプション製品

リソース	提供される情報
限定保証規定* 日本向けの日本語モデルに適用される HP 限定保証規定は、製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています	保証に関する情報

* お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されているドキュメントまたは製品に付属の CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が付属しています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に付属している国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/ でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**：Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd., Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**：Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**：Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

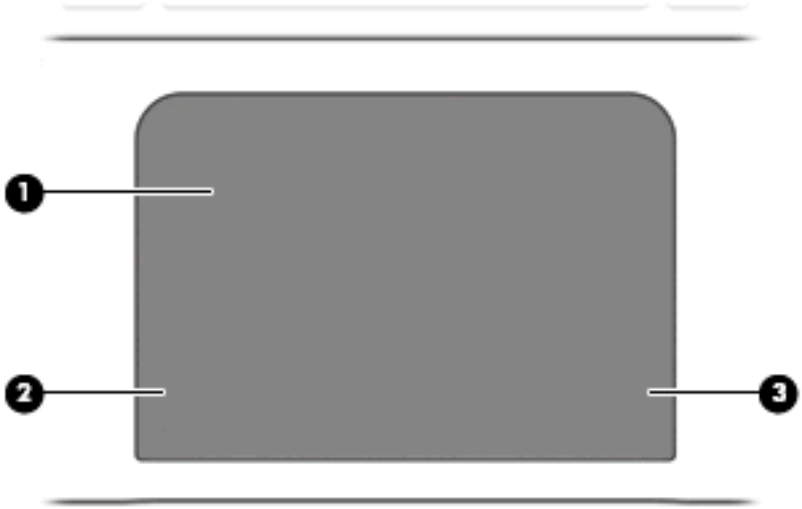
保証規定の印刷物のコピーを請求する場合は、製品番号および保証期間（サービス ラベルに記載されています）、およびお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

重要： お使いの HP 製品を上記の住所宛てに返品しないでください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

2 コンピューターの概要

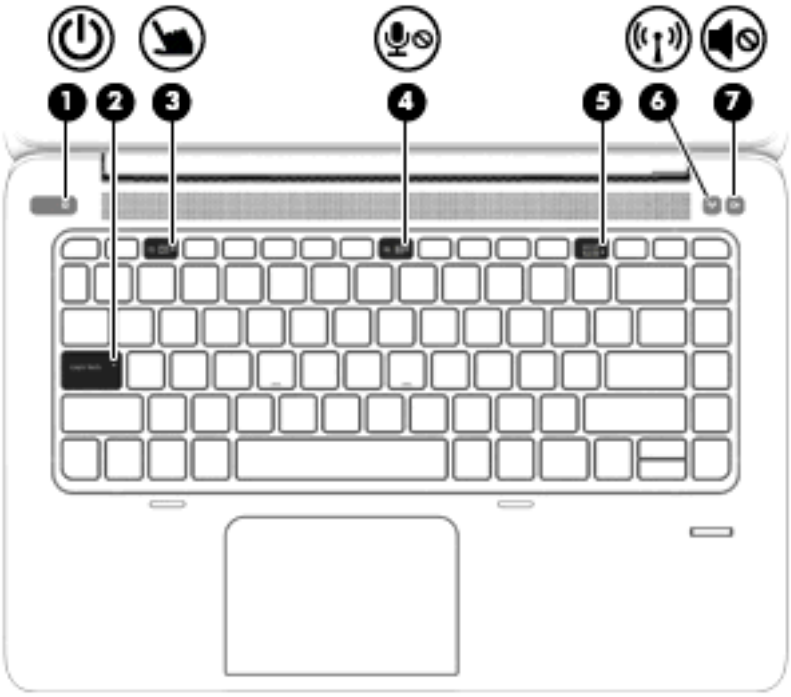
上面の各部

タッチパッド



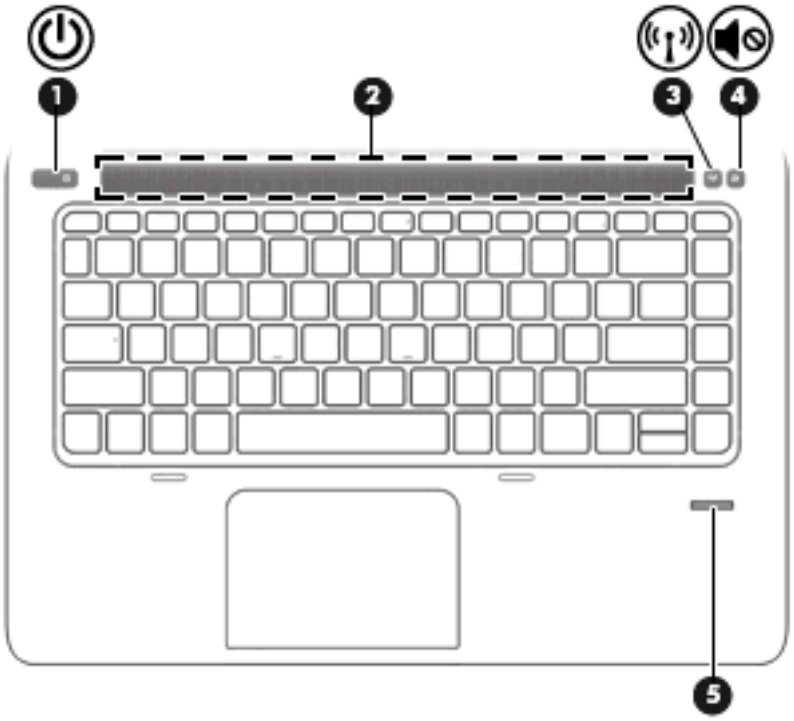
名称		説明
(1)	タッチパッド ゾーン	ポインターを動かして、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ



名称			説明
(1)		電源ランプ	• 点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっています
(2)		Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっています
(3)		タッチパッド ランプ	• オレンジ色：タッチパッドがオフになっています • 消灯：タッチパッドがオンになっています
(4)		マイクの消音ランプ	• オレンジ色：マイクのサウンドがオフになっています • 消灯：マイクのサウンドがオンになっています
(5)		Num lock ランプ	点灯：Num lock がオンになっています
(6)		無線ランプ	• 白色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）や Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています • オレンジ色:すべての無線デバイスがオフになっています
(7)		ミュート（消音）ランプ	• オレンジ色:コンピューターのサウンドがオフになっています • 消灯:コンピューターのサウンドがオンになっています

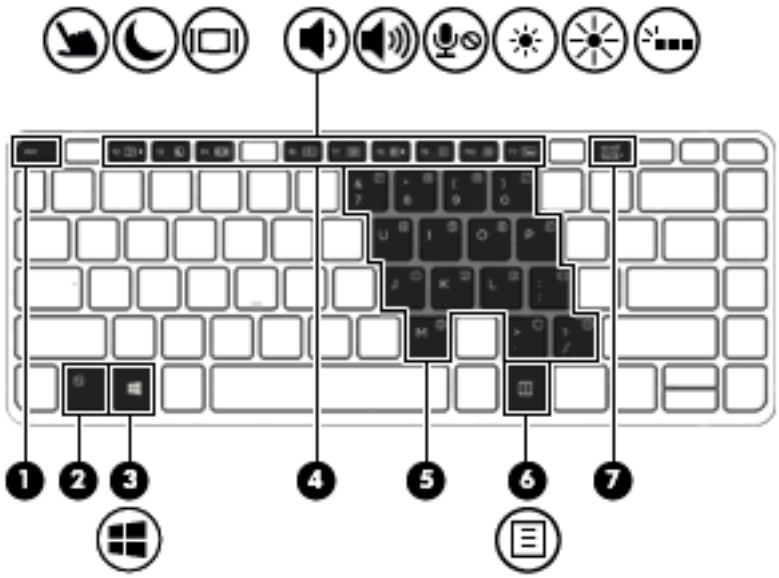
ボタンおよび指紋認証システム（一部のモデルのみ）



名称		説明
(1)	電源ボタン	• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります • コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます • コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します • コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します **注意：** 電源ボタンを押し続けて電源を切断すると、保存されていない情報は失われます コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます コンピューターが応答せず、前に述べたシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンとミュート（消音）ボタンを同時に 5 秒程度押したままにすると、ハードウェアのリセットが実行されてコンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しくは、電源オプションを確認してください。スタート画面で「電源」と入力して**[Power and sleep settings]**（電源とスリープ ボタンの設定）を選択し、アプリケーションのリストから**[Power and sleep]**（電源とスリープ）を選択します
(2)	スピーカー グリル	サウンドを出力します

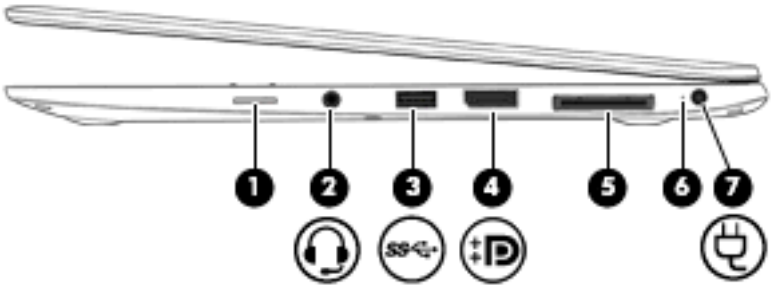
名称			説明
(3)		無線ボタン	無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません
(4)		ミュート（消音）ボタン	スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりします
(5)		指紋認証システム	パスワードの代わりに指紋認証を使用してログオンできます

キー



名称		説明
(1)	esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)	fn キー	ファンクション キー、num lk キー、esc キー、または b キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)	Windows ボタン	開いているアプリケーションまたは Windows デスクトップからスタート画面に戻ります **注記：** Windows ボタンをもう一度押すと、前の画面に戻ります
(4)	ファンクション キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(5)	内蔵テンキー	内蔵テンキーがオンになっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです オンになっているときに内蔵テンキーのキーを押すと、そのキーの右上または手前側面にあるアイコンで示された機能が実行されます
(6)	Windows アプリケーション キー	選択したオブジェクトのオプションを表示します
(7)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーのオン/オフが切り替わります 内蔵テンキーのナビゲーション機能と数字入力機能が切り替わります

右側面の各部



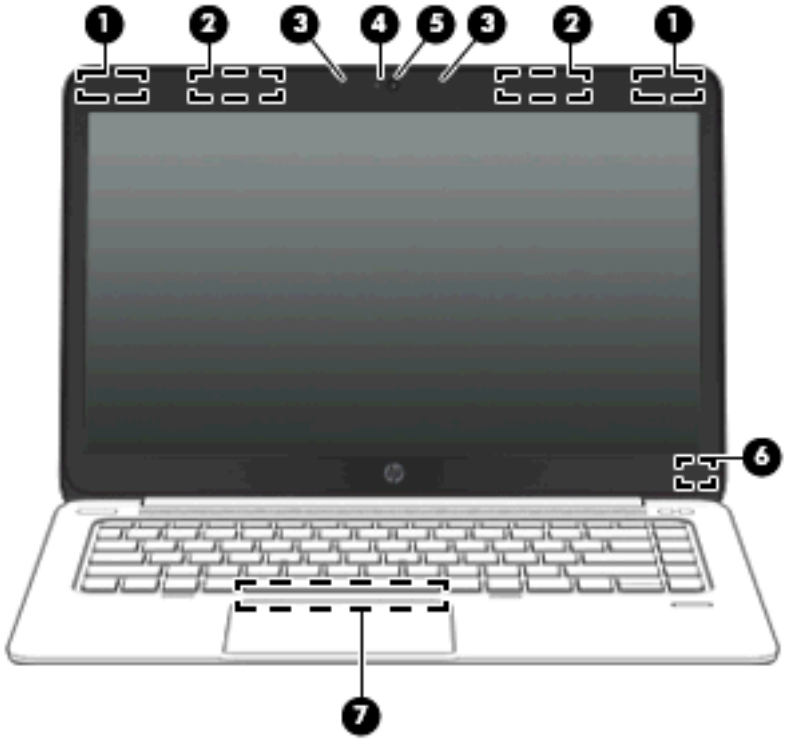
名称			説明
(1)		SIM カード スロットのプラグ（一部のモデルのみ）	無線 SIM（Subscriber Identity Module）カードを装着できます
(2)		オーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売または市販の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビのオーディオ端子などに接続したときに、サウンドを出力します。ヘッドセット マイク（別売）を接続する場合もここに接続します。 **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。このユーザー ガイドを表示するには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択し、**[マイ コンピューター]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します **注記：** コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります **注記：** デバイスのケーブルのコネクタが、オーディオ出力（ヘッドフォン）およびオーディオ入力（マイク）の両方をサポートする 4 芯コネクタであることを確認してください
(3)	SS	USB 3.0 ポート（×2）	別売の USB3.0 デバイスを接続します。USB 対応デバイスで、高速な転送速度を実現します **注記：** 各種 USB ポートについて詳しくは、47 ページの USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用を参照してください
(4)		DisplayPort	高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイ デバイスを接続します
(5)		ドッキング コネクタ	別売のドッキング デバイスまたはミニ ドッキング ステーションを接続します

名称		説明
(6)	AC アダプター/バッテリ ランプ	• 白色に点灯：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は 90～99%完了しています • オレンジ色に点灯：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は 0～90%完了しています • オレンジ色で点滅：コンピューターの電源としてバッテリのみを使用していて、ロー バッテリ状態になっています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます • 消灯：バッテリは完全に充電されています
(7)	電源コネクタ	AC アダプターを接続します

左側面の各部

名称			説明
(1)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(2)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(3)		USB 3.0 ポート（電源オフ USB チャージ機能対応）	別売の USB デバイスを接続します。電源オフ USB チャージ機能対応の USB ポートでは、コンピューターの電源が入っていないときでも、一部のモデルの携帯電話や MP3 プレーヤーを充電することも可能です
(4)	Micro SD	microSD メディア カード スロット	microSD（Secure Digital）メディア カードをサポートします
(5)	SC	スマート カード リーダー	別売または市販のスマート カードに対応しています

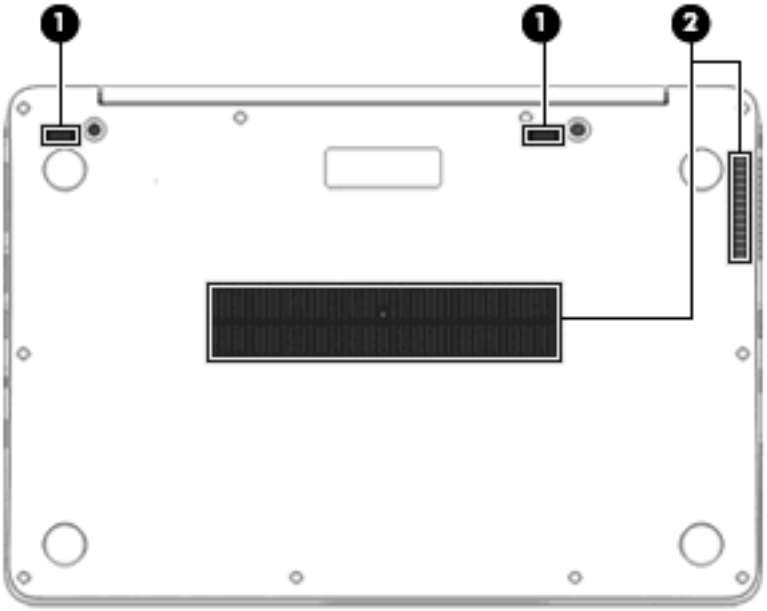
ディスプレイの各部



名称		説明
(1)	無線 LAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(2)	無線 WAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(3)	内蔵マイク（×2）	サウンドを集音、録音します
(4)	Web カメラ ランプ（一部のモデルのみ）	Web カメラの使用中に点灯します
(5)	Web カメラ（一部のモデルのみ）	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラの使用方法については、[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します
(6)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れるかスリープが開始します **注記：** ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(7)	NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）アンテナ*（一部のモデルのみ）	無線信号を送受信して、NFC 対応デバイスとの間で通信したり、データや情報をやり取りしたりできます

* アンテナはコンピューターの外側からは見えません。送受信が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。このユーザー ガイドを表示するには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択し、**[マイ コンピューター]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します。

裏面の各部



名称		説明
(1)	ドッキング デバイスの穴（×2）	別売のドッキング デバイスを接続します
(2)	通気孔（×2）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

3　ネットワークへの接続

お使いのコンピューターは、どこへでも持ち運べます。しかし、自宅にいるときでも、コンピューターを有線または無線ネットワークに接続して使用すれば、世界中を検索して何百万もの Web サイトの情報を参照できます。この章では、ネットワークで世界と接続する方法について説明します。

無線ネットワークへの接続

無線ネットワークでは、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つまたは複数内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス（一部のモデルのみ）：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、コンピューターのモバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール（一部のモデルのみ）：より広い範囲での無線接続を実現する、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）を設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス（一部のモデルのみ）：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッド セット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線ネットワークについて詳しくは、[HP Support Assistant]に記載されている情報および Web サイトへのリンクを参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタン、無線スイッチ、または無線キー（この章ではこれらすべてを無線ボタンと呼びます）
- オペレーティング システムの制御機能

無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、複数の無線デバイス、1 つまたは 2 つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっているため、コンピューターの電源を入れると白色の無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。無線ランプが白色の場合は、少なくとも 1 つの無線デバイスがオンになっていることを示しています。無線ランプが消灯の場合は、すべての無線デバイスがオフになっていることを示しています。

注記： モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっている場合に無線ランプがオレンジ色になります。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。

オペレーティング システムの制御機能の使用

[ネットワークと共有センター]では、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

オペレーティング システムの制御機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して**[コントロール パネル]**を選択します。
2. **[ネットワークとインターネット]**→**[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。

詳しくは、[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

無線 LAN の使用（一部のモデルのみ）

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルーターまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

注記： **無線ルーター**と**無線アクセス ポイント**という用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- SOHO 環境で使われる無線 LAN では通常、無線ルーターを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供されます）に接続する必要があります。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

自宅でインターネット アクセスをセットアップするには、ISP のアカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業に関するサポートを提供しています。

注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

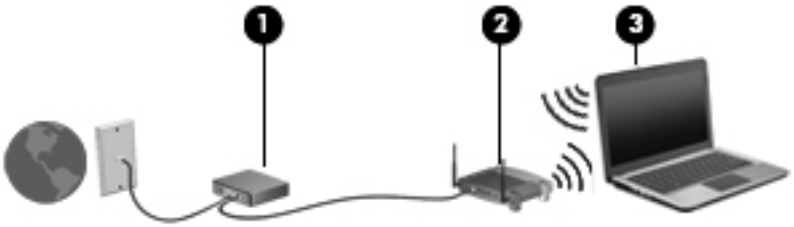
無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）(1) およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター (2)（別売）
- 無線コンピューター (3)

注記： 一部のモデムには、無線ルーターが内蔵されています。モデムの種類については、ISP に問い合わせて確認してください。

以下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークの設置例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加してインターネットに接続できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元またはインターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供されている情報を参照してください。

注記： 最初に、ルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できることを確認したら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスします。

無線 LAN の保護

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。無線 LAN スポットと呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が採られていないことがあります。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、機密性の低い電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめておいてください。

無線信号はネットワークの外に出てしまうため、保護されていない信号を他の無線 LAN デバイスに拾われる可能性があります。事前に以下のような対策を採ることで無線 LAN を保護します。

- ファイアウォールを使用する

  ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄します。ファイアウォールの種類は、ソフトウェアとハードウェアに分けられます。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせて使用します。

- 無線を暗号化する

  無線の暗号化では、ネットワークで送受信されるデータの暗号化と復号化を行ってセキュリティを高めます。詳しくは、[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。デバイスがオンになっている場合は、無線ランプが点灯します。無線ランプがオフになっている場合は、無線ボタンを押します。

   注記： モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっている場合に無線ランプがオレンジ色になります。

2. スタート画面で、画面の右上隅または右下隅にポインターを置き、チャームを表示します。
3. **[設定]**を選択し、ネットワーク ステータス アイコンをクリックします。
4. 一覧から接続する無線 LAN を選択します。
5. **[接続]**をクリックします。

   無線 LAN がセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[サインイン]**をクリックします。

   注記： 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセス ポイントの範囲外にいる可能性があります。

   注記： 接続したい無線 LAN が表示されない場合は、Windows デスクトップでネットワーク ステータス アイコンを右クリックし、**[ネットワークと共有センターを開く]**を選択します。**[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**をクリックします。オプションの一覧が表示されて、手動で検索してネットワークに接続したり、新しいネットワーク接続を作成するなどのオプションを選択できます。

6. 画面の説明に沿って操作し、接続を完了します。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前およびステータスを確認できます。

注記： 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の機器の数や配置などの展開状況、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線 WAN を使用できるため、無線 LAN でのアクセスよりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（「モバイル ネットワーク事業者」と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP は、以下のテクノロジーをサポートしています。

- HSPA（High Speed Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- LTE（Long Term Evolution）によって、LTE テクノロジーをサポートするネットワークにアクセスできます。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。 シリアル番号は、コンピューターの裏面のラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM カードが必要な場合があります。SIM カードには、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM カードが SIM カード スロットにあらかじめ装着されています。SIM カードがあらかじめ装着されていない場合、SIM カードは、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM カードの装着と取り外しについて詳しくは、この章の19 ページの SIM カードの装着および取り出し（一部のモデルのみ）を参照してください。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。

SIM カードの装着および取り出し（一部のモデルのみ）

⚠ **注意：** コネクタの損傷を防ぐため、SIM カードを装着するときは無理な力を加えないでください。

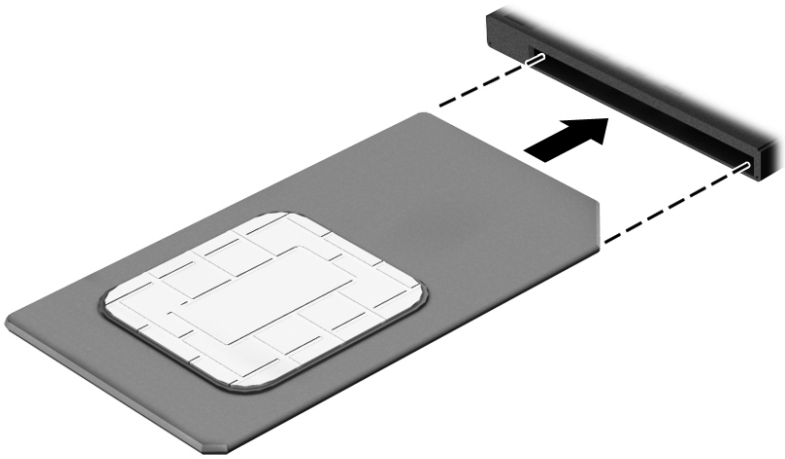
SIM カードを装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. SIM カードのダミー プラグを取り外します（一部のモデルのみ）。

注記： お使いのコンピューターには、SIM カード プラグ（固定）と SIM カード ダミー プラグのどちらかが搭載されています。SIM カード プラグ（固定）を、コンピューターの外側から内側に押し込んだり、外側から確認したりすることはできません。SIM カード ダミー プラグを取り出すには、SIM カード ダミー プラグをいったんスロットに押し込んで、固定を解除してから引き抜きます。

6. SIM カードを SIM カード スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。

注記： SIM カードをコンピューターに挿入する方向については、SIM カード スロットに示された図をご覧ください。



7. 外部電源を接続しなおします。
8. 外付けデバイスを接続しなおします。
9. コンピューターの電源を入れます。

SIM カードを取り出すには、カードをいったんスロットに押し込んで、固定を解除してから引き抜きます。

GPS の使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターには、GPS（Global Positioning System）デバイスが内蔵されている場合があります。GPS 搭載システムには、GPS 衛星から位置、速度、および方角に関する情報が送信されます。

詳しくは、[HP GPS and Location]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth 無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、タブレット、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）
- マウス

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

有線ネットワークへの接続（別売のドッキング デバイス経由）

ローカル エリア ネットワーク（LAN）は有線接続です。LAN 接続では、RJ-45 ネットワーク ケーブル（別売）および別売のドッキング デバイスを使用します。

⚠ **警告！** 火傷や感電、火災、および装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続

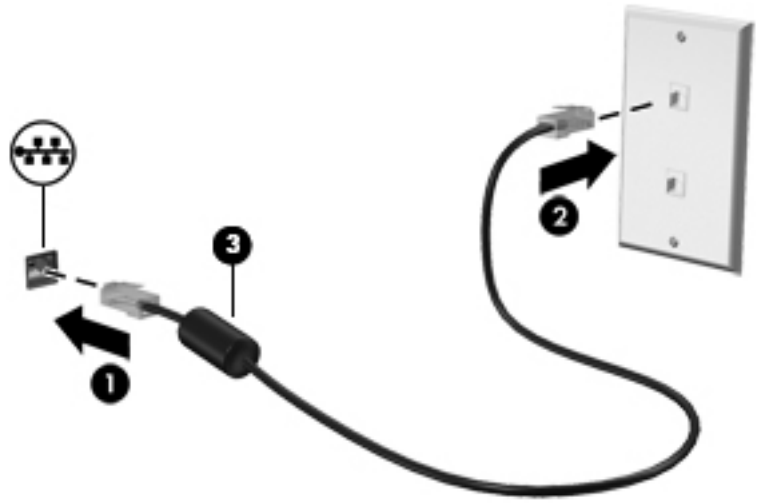
コンピューターを自宅のルーターに直接有線接続する（無線で作業しない）場合、または会社の既存のネットワークに接続する場合は、LAN 接続を使用します。

LAN に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブルおよび別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルを、コンピューターのドッキング デバイス上のネットワーク コネクタに差し込みます（**1**）。
2. ネットワーク ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントまたはルーターに差し込みます（**2**）。

注記： ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア（**3**）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端をコンピューター側に向けます。



4 キーボード、タッチ ジェスチャ、およびポインティング デバイスを使用した操作

お使いのコンピューターでは、キーボードとマウスに加え、タッチ ジェスチャ（一部のモデルのみ）を使用して操作が行えます。タッチ ジェスチャは、お使いのコンピューターのタッチパッド上で使用できます。

お使いのコンピューターに付属している『Windows の基本操作』を確認してください。このガイドは、タッチパッド、タッチ スクリーン、またはキーボードを使用した一般的な操作に関する情報が記載されています。

一部のモデルのコンピューターのキーボードには、通常のタスクを実行するための特殊な操作キーまたはホットキー機能も含まれています。

ポインティング デバイスの使用

注記： お使いのコンピューターに付属しているポインティング デバイス以外に、外付け USB マウス（別売）をコンピューターの USB ポートのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[Mouse Properties]（マウスのプロパティ）を使用します。

マウスのプロパティにアクセスするには、以下の操作を行います。

- スタート画面で「マウス」と入力して、**[設定]**→**[マウス]**の順に選択します。

タッチパッドの使用

注記： お使いのタッチパッドには、静電容量式画像センサーが装備されています。 このセンサーは、移動、スクロール、およびピンチとストレッチによるズームについて、加えられた力に対応したジェスチャの継続機能をサポートしています。この機能によって、操作中にタッチパッドに指の力が加えられている間は、タッチパッド ジェスチャを繰り返し継続することが可能になります。さらに、タッチパッドは、これらのジェスチャの使用中に加えられている指の圧力を検出します。ジェスチャ中にタッチパッドの上に指を置き、力を入れて押すと、ジェスチャの動きが加速します。次のセクションに記載されている従来のタッチパッド ジェスチャもサポートされています。

ポインターを動かすには、タッチパッド上でポインターを動かしたい方向に 1 本の指をスライドさせます。左のタッチパッド ボタンおよび右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。

タッチパッドのオフ/オンの切り替え

タッチパッドのオンとオフを切り替えるには、fn ＋ f2 キーを押します。

タッチパッド ジェスチャの使用

お使いのタッチパッドでは、ポインターの動きを指で操作することにより、画面上でポインティング デバイスを移動できます。

タッチパッドでは、さまざまな種類のジェスチャがサポートされています。タッチパッド ジェスチャを使用するには、2 本の指を同時にタッチパッド上に置きます。

注記： プログラムによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

1. スタート画面で「マウス」と入力して、**[設定]**→**[マウス]**の順に選択します。
2. **[デバイス設定]**タブをクリックし、表示されたウィンドウ内のデバイスを選択してから、**[設定]**をクリックします。
3. ジェスチャをクリックすると、デモンストレーションが始まります。

ジェスチャをオフまたはオンにするには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「マウス」と入力して、**[設定]**→**[マウス]**の順に選択します。
2. **[デバイス設定]**タブをクリックし、表示されたウィンドウ内のデバイスを選択してから、**[設定]**をクリックします。
3. オンまたはオフにするジェスチャの横にあるチェック ボックスにチェックを入れます。
4. **[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。

タップ

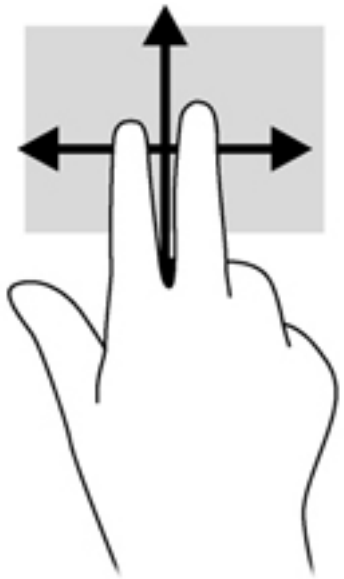
画面上で選択するには、タッチパッド上でタップ機能を使用します。

- タッチパッド ゾーンで、1 本の指でタップして（軽くたたいて）選択します。項目をダブルタップして開きます。

スクロール

スクロールは、ページや画像上で上下左右に移動するときに便利です。

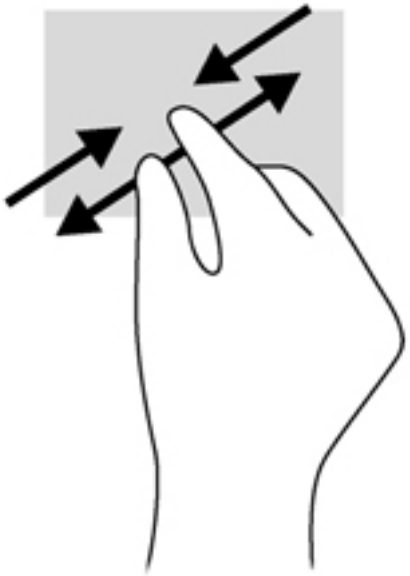
- 2 本の指を少し離してタッチパッド ゾーン上に置き、上下左右にドラッグします。



ピンチとストレッチによるズーム

指でつまむ動作のピンチおよび指を開く動作のストレッチにより、画像やテキストを拡大したり縮小したりするズームができます。

- タッチパッド ゾーンで 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームイン（拡大）できます。
- タッチパッド ゾーンで 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウト（縮小）できます。

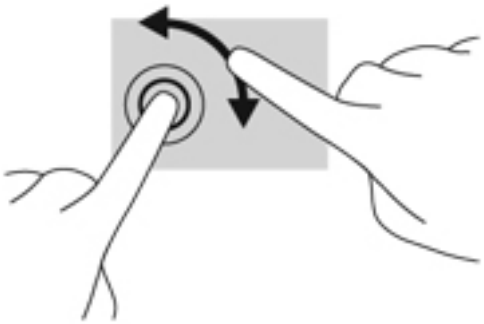


回転（一部のモデルのみ）

回転を使用すると、写真などを回転できます。

- 左手の人差し指をタッチパッド ゾーンに固定します。右手を使用して、人差し指を 12 時から 3 時の位置へと弧を描きながら動かします。逆方向へと回転させるには、人差し指を 3 時から 12 時の方向に動かします。

注記： 回転は、オブジェクトや画像を操作できる特定のアプリケーションを対象としています。アプリケーションによっては、回転が機能しないことがあります。



2 本指クリック（一部のモデルのみ）

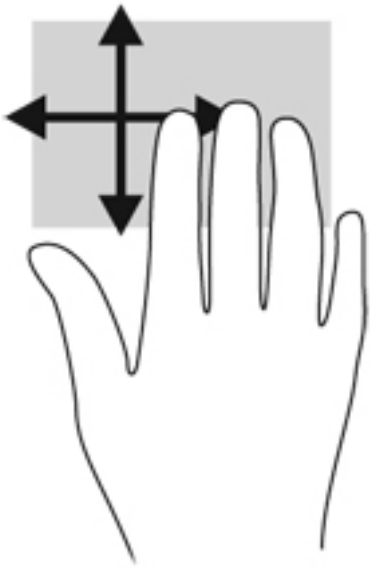
2 本指クリックを使用すると、画面上の項目のメニューを選択できます。

- 2 本の指をタッチパッド ゾーンに置いて押し続けると、選択したオブジェクトのオプション メニューが表示されます。

フリック（一部のモデルのみ）

フリック ジェスチャを使用すると、画面を切り替えたりドキュメントをすばやくスクロールしたりできます。

- 3 本の指をタッチパッド ゾーンに置き、軽く速い動作で上下左右に指を払うように動かします。



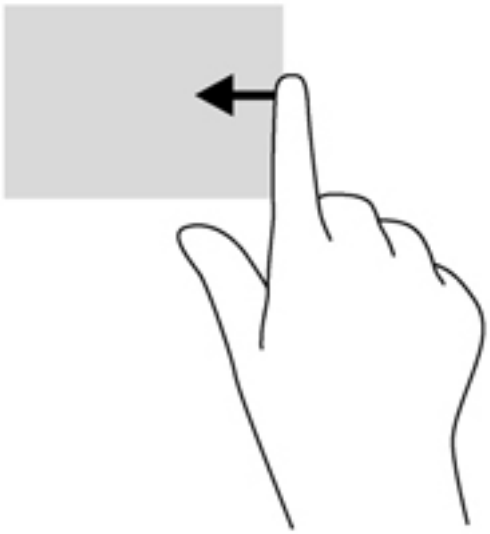
エッジ スワイプ（一部のモデルのみ）

エッジ スワイプ（画面端からのスワイプ）を使用すると、コンピューターのツールバーにアクセスして設定の変更やアプリケーションの検索および使用などのタスクを実行できます。

右端からのスワイプ

右端からスワイプすると、チャームにアクセスして、検索、共有、アプリケーションの起動、デバイスへのアクセス、設定の変更などを実行できます。

- 右端から指をゆっくりと滑らせるとチャームが表示されます。

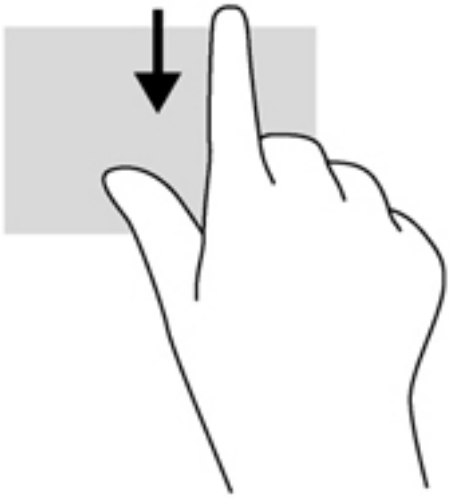


上端からのスワイプ

上端からスワイプすると、アプリケーション コマンド オプションを表示してアプリケーションをカスタマイズできます。

重要： 上端からのスワイプ操作結果は、開いているアプリケーションによって異なります。

- 上端からゆっくりスワイプすると、アプリケーション コマンド オプションが表示されます。

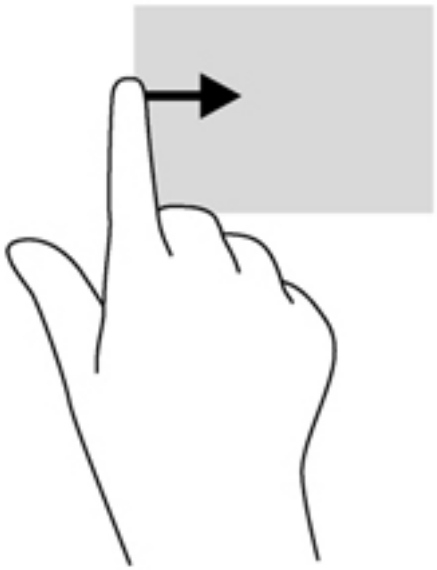


左端からのスワイプ

左端からスワイプすると、最近開いたアプリケーションを表示してすばやく切り替えることができます。

タッチパッドの左端からゆっくりスワイプすると、最近開いたアプリケーションを切り替えられます。

- タッチパッドの左端からスワイプして、アプリケーションを切り替えます。



キーボードの使用

キーボードおよびマウスを使用すると、入力、項目の選択、スクロールができ、タッチ ジェスチャを使用する場合と同じ機能の実行が可能です。キーボードを使用すると、操作キーおよびホットキーを使って特定の機能も実行できます。

ヒント： キーボードの Windows ボタン を使用すると、開いているアプリケーションや Windows デスクトップから、スタート画面にすばやく戻ることができます。Windows ボタンをもう一度押すと、前の画面に戻ります。

注記： 国または地域によっては、キーボードに含まれるキーおよびキーボード機能がこの項目での説明と異なる場合もあります。

Windows のショートカット キーの使用

Windows には、操作をすばやく実行できるショートカットが用意されています。Windows キー は、単独でまたは以下の表にあるキーと組み合わせて押して、指定の操作を実行します。

Windows のショートカット キーについて詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

ショートカット キー		キー	説明
			スタート画面が開きます
	+	c	チャームが開きます
	+	d	Windows デスクトップが開きます
	+	q	開いているアプリケーション内で検索します
	+	tab	開いているアプリケーションとデスクトップを切り替えます **注記：** 目的のアプリケーションが表示されるまで、このキーの組み合わせを押し続けてください
	+	下向き矢印	アクティブなアプリケーションが閉じられます。操作キーの設定により実行される操作が異なります

ホットキーの位置

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）またはファンクション キー（3）のどれかの組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

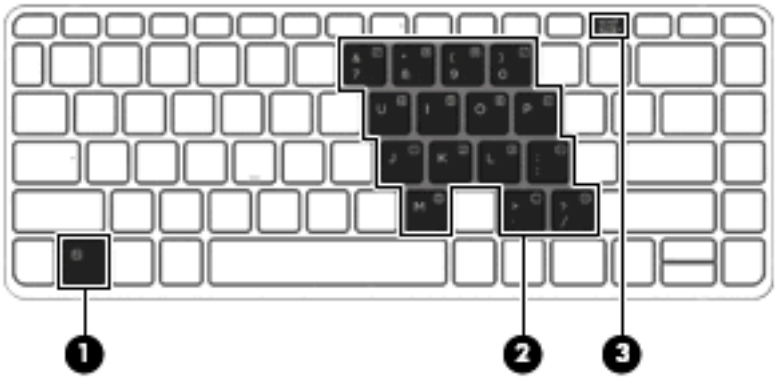
▲ fn キーを短く押し、次にホットキーの組み合わせの 2 番目のキーを短く押します。

ホットキーの組み合わせ		説明
	fn + esc	システム情報を表示します
	fn + f2	タッチパッドをオンまたはオフにします
	fn + f3	スリープを開始します。これによって、情報がシステム メモリに保存されます。ディスプレイとその他のシステム コンポーネントはオフになり、節電されます スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します。 **注意：** 情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください
	fn + f4	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、別売のドッキング デバイスを経由してコンピューターに外付けモニターを接続している場合は、fn + f4 キーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターのビデオ情報を受け取ります。fn + f4 ホットキーでは、コンピューターのビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	fn + f6	スピーカーの音量を下げます
	fn + f7	スピーカーの音量を上げます
	fn + f8	マイクをミュート（消音）にします
	fn + f9	画面の輝度を下げます
	fn + f10	画面の輝度を上げます
	fn + f11	キーボードのバックライトをオンまたはオフにします **注記：** 出荷時設定では、キーボードのバックライトはオンになっています。バッテリの寿命を延ばすには、キーボードのバックライトをオフにします

テンキーの使用

このコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

内蔵テンキーの使用



	名称	説明
(1)	fn キー	num lk キーと一緒に押すと、内蔵テンキーのオン/オフが切り替わります **注記：** 外付けキーボードまたはテンキーがコンピューターに接続されているときは、内蔵テンキーは機能しません
(2)	内蔵テンキー	内蔵テンキーがオンになっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです オンになっているときに内蔵テンキーのキーを押すと、そのキーの右上または手前側面にあるアイコンで示された機能が実行されます
(3)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーのオン/オフが切り替わります **注記：** テンキー機能がコンピューターの電源を切ったときに有効だった場合は、次回コンピューターの電源を入れたときにも有効になっています

内蔵テンキーのオン/オフの切り替え

内蔵テンキーをオンにするには、fn ＋ num lk キーを押します。内蔵テンキーをオフにするには、もう一度 fn ＋ num lk キーを押します。

注記： 外付けキーボードまたはテンキーがコンピューターに接続されているときは、内蔵テンキーはオフになります。

内蔵テンキーの機能の切り替え

内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーがオフのときに、テンキーのナビゲーション機能を使用するには、fn キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーがオンのときに、テンキー部分のキーボードの文字入力機能を使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押しながら文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります。（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

5 マルチメディア

お使いのコンピューターには、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- 内蔵スピーカー
- 内蔵マイク
- 内蔵 Web カメラ
- プリインストールされたマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディア ボタンまたはマルチメディア キー

オーディオ

お使いの HP 製コンピューターでは、音楽 CD の再生、音楽のダウンロードや再生、Web 上のオーディオ コンテンツ（ラジオなど）のストリーミング、オーディオの録音、オーディオとビデオの組み合わせによるマルチメディアの作成などが可能です。オーディオを聴く楽しみを広げるには、スピーカーやヘッドフォンなどの外付けオーディオ デバイスを接続します。

スピーカーの接続

有線のスピーカーをコンピューターに接続する場合は、コンピューターまたはドッキング ステーションの USB ポート（またはオーディオ出力コネクタ）に接続します。

無線スピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。オーディオ デバイスを接続する前に、必ず音量を調整してください。

音量の調整

お使いのモデルのコンピューターによって、音量の調整には以下のどれかを使用します。

- 音量ボタン
- 音量調整ホットキー（特定のキーを fn キーと一緒に押します）
- 音量キー

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。このユーザー ガイドを表示するには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択し、**[マイ コンピューター]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します。

注記： 音量の調整には、オペレーティング システムおよび一部のプログラムも使用できます。

注記： お使いのコンピューターの音量調整機能の種類について詳しくは、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

ヘッドフォン/マイクの接続

有線のヘッドフォンおよびマイクは、コンピューターのオーディオ出力（ヘッドフォン）/オーディオ入力（マイク）コネクタに接続できます。別売のヘッドセット マイクも接続できます。良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。無線のヘッドフォンをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

無線のヘッドフォンをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。

警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量設定を下げてからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

注記： デバイスのケーブルのコネクタが、オーディオ出力（ヘッドフォン）およびオーディオ入力（マイク）の両方をサポートする 4 芯コネクタであることを確認してください

コンピューターのオーディオ機能の確認

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

お使いのコンピューターのオーディオ機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して**[コントロール パネル]**を選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**の順に選択します。

   [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブを選択します。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**をクリックします。スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

お使いのコンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「サウンド」と入力して**[サウンド レコーダー]**を選択します。
2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。ドキュメントや Windows デスクトップなどにファイルを保存します。
3. マルチメディア プログラムを開き、録音内容を再生します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して**[コントロール パネル]**を選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**の順に選択します。

Web カメラ（一部のモデルのみ）

一部のコンピューターには、Web カメラが内蔵されています。プリインストールされているソフトウェアを使用すると、Web カメラで静止画像を撮影したり、動画を録画したりできます。また、写真や録画した動画をプレビューできます。

[HP Webcam]ソフトウェアを使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画の撮影および共有
- インスタント メッセージ ソフトウェアを使用した動画のストリーミング
- 静止画像の撮影

動画の視聴

お使いのコンピューターはパワフルなビデオ デバイスであり、お気に入りの Web サイトの動画のストリーミングを視聴したり、動画や映画をあらかじめダウンロードしてネットワークに接続しないで視聴したりできます。

コンピューターのビデオ コネクタのどれかに外付けモニター、プロジェクター、またはテレビを接続することで、視聴の楽しみが広がります。

お使いのコンピューター（または別売のドッキング デバイス）には、以下の外付けビデオ コネクタが内蔵されています。

- VGA
- DisplayPort

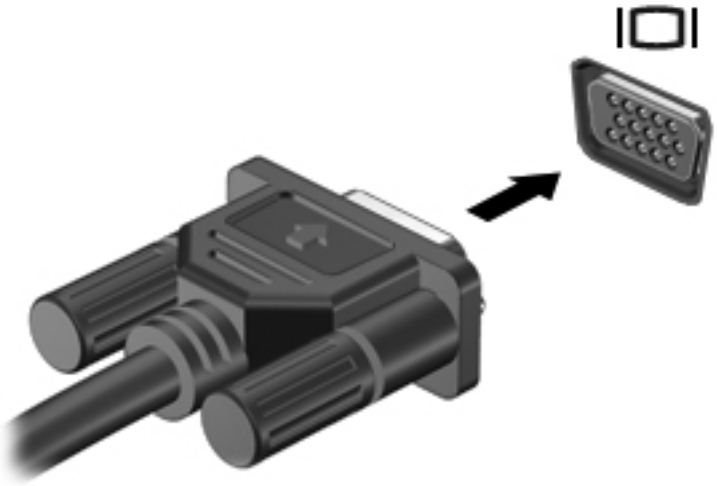
重要： 外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。不明点や疑問点がある場合は、デバイスの製造販売元の説明を確認してください。

注記： お使いのコンピューターのビデオ コネクタについて詳しくは、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

VGA（別売のドッキング デバイス経由）

VGA コネクタとも呼ばれる外付けモニター コネクタは、外付け VGA モニターや VGA プロジェクターなどの外付け VGA ディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するための、アナログ ディスプレイ インターフェイスです。

- VGA ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを別売のドッキング デバイス上の外付けモニター コネクタに接続します。



DisplayPort

DisplayPort は、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売のビデオまたはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。DisplayPort は VGA 外付けモニター ポートを上回るパフォーマンスを提供し、デジタル接続の質を向上させます。

注記： DisplayPort を使用してビデオ信号または音声信号を伝送するには、DisplayPort ケーブル（別売）が必要です。

注記： コンピューターの DisplayPort コネクタには、1 つの DisplayPort デバイスを接続できます。コンピューター本体の画面に表示される情報を DisplayPort デバイスに同時に表示できます。

DisplayPort にビデオまたはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. DisplayPort ケーブルの一方の端をコンピューターの DisplayPort コネクタに接続します。

2. ケーブルのもう一方の端をビデオまたはオーディオ デバイスに接続します。接続後の手順については、デバイスの製造元の説明書を参照してください。

注記： デバイスのケーブルを取り外すには、コネクタのリリース ボタンを押し下げて、ケーブルをコンピューターから取り外します。

インテル ワイヤレス・ディスプレイ（一部のモデルのみ）

インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使用すると、コンピューターの画面を無線でテレビと共有できます。無線ディスプレイを使用するには、無線テレビ アダプター（別売）が必要です。出力保護されている DVD は、インテル ワイヤレス・ディスプレイでは再生できません （ただし、出力保護されていない DVD は再生されます）。出力保護されているブルーレイ ディスクは、インテル ワイヤレス・ディスプレイでは再生されません。テレビ アダプターの使用について詳しくは、製造元の説明書を参照してください。

注記： インテル ワイヤレス・ディスプレイを使用する前に、お使いのコンピューターで無線が有効になっていることを確認します。

6 電源の管理

注記： コンピューターには、電源ボタンまたは電源スイッチがあります。このガイドで使用する「電源ボタン」という用語は、両方の種類の電源コントロールを指します。

コンピューターのシャットダウン

注意： コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合は、コンピューターをシャットダウンします。

- USB（Universal Serial Bus）ポート以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源ボタンでコンピューターの電源を切ることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した以下の手順をおすすめします。

注記： コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前に電源ボタンを短く押して、スリープまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. スタート画面で、ポインターを画面の右上隅または右下隅に移動します。
3. **[設定]**→**[電源]**アイコン→**[シャットダウン]**の順にクリックします。

   または

   画面の左下隅にある[スタート]ボタンを右クリックしてから、**[シャットダウン]**→**[シャットダウン]**の順に選択します。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の操作を記載されている順に試みて緊急シャットダウンを行います。

- ctrl ＋ alt ＋ delete キーを押し、**[電源]**アイコン→**[シャットダウン]**の順にクリックします。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離します。
- 電源ボタンとミュート（消音）ボタンを同時に 5 秒程度押し続けます。

インテル スマート・コネクト・テクノロジーによるソフトウェア内容の更新（一部のモデルのみ）

コンピューターがスリープ状態の場合、インテル® スマート・コネクト・テクノロジーによって定期的にコンピューターのスリープ状態が終了されます。ネットワーク接続が利用可能な場合、スマート・コネクトは、電子メールの受信トレイ、ソーシャル ネットワーク サイト、ニュース ページなどの開いているアプリケーションを更新してから、コンピューターをスリープ状態に戻します。スマート・コネクトは、電子メールなど、オフラインで作成したコンテンツの同期も行います。コンピューターがスリープを終了したときに、更新された情報にすぐにアクセスできます。

▲ この機能を有効にしたり、手動で設定を調整したりするには、スタート画面で「smart」と入力して**[Intel Smart Connect Technology]**（インテル スマート・コネクト・テクノロジー）を選択します。

電源オプションの設定

省電力設定の使用

スリープは、出荷時に有効に設定されています。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されます。

⚠ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスリープを開始しないでください。

注記： コンピューターがスリープ状態の間は、どのような種類のネットワーク接続もコンピューター機能も開始できません。

スリープの開始および終了

コンピューターの電源が入っているときにスリープを開始するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- スタート画面で、ポインターを画面の右上隅または右下隅に移動します。チャームの一覧が開いたら、**[設定]**→**[電源]**アイコンの順にクリックして、**[スリープ]**をクリックします。

スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します。

コンピューターがスリープを終了すると電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ユーザー起動のハイバネーションの、有効化および終了

[電源オプション]を使用すると、ユーザーがハイバネーションを開始できるようにしたり、その他の電源設定およびタイムアウトを変更したりできます。

1. スタート画面で「電源」と入力し、**[電源オプション]**を選択します。
2. 左側の枠内で、**[電源ボタンの動作の選択]**をクリックします。
3. **[現在利用可能ではない設定を変更します]**をクリックします。
4. **[電源ボタンを押したときの動作]**領域で、**[休止状態]**を選択します。
5. **[変更の保存]**をクリックします。

ハイバネーションを終了するには、電源ボタンを短く押します。電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

電源メーターおよび電源設定の使用

電源メーターは、Windows デスクトップにあります。電源メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリ充電残量を表示したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、Windows デスクトップで[電源メーター]アイコンをポイントします。
- [電源オプション]を使用したり、電源プランを変更したりするには、[電源メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。スタート画面で「電源」と入力し、**[電源オプション]**を選択することもできます。

コンピューターがバッテリ電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[電源メーター]アイコンの外観の違いで判断できます。アイコンには、バッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になった場合にそのメッセージも表示されます。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープまたはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「電源」と入力し、**[電源オプション]**を選択します。
2. 左側の枠内で、**[スリープ解除時のパスワード保護]**をクリックします。
3. **[現在利用可能ではない設定を変更します]**をクリックします。
4. **[パスワードを必要とする （推奨）]**をクリックします。

注記： ユーザー アカウントを作成したり、現在のユーザー アカウントを変更したりする場合は、**[ユーザー アカウント パスワードの作成または変更]**をクリックしてから、画面の説明に沿って操作します。ユーザー アカウント パスワードを作成または変更する必要がない場合は、手順 5 に進んでください。

5. **[変更の保存]**をクリックします。

バッテリ電源の使用

⚠ **警告！** けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリ電源で動作します。コンピューターのバッテリは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリは充電されるため、停電した場合でも作業データを守ることができます。充電済みのバッテリを装着したコンピューターが外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すか、または外部電源が切断されると、電源が自動的にバッテリ電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリ寿命を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。

出荷時に装着されているバッテリ

バッテリの状態を確認する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、[HP ヘルプとサポート]で[HP バッテリ チェック]を実行してください。バッテリ情報を表示するには、スタート画面で「support」と入力して、**[HP Support Assistant]**アプリケーション→**[バッテリおよびパフォーマンス]**の順に選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

出荷時に装着されているバッテリを取り外したり交換したりしないでください。バッテリを取り外したり交換したりすると、保証が適用されない場合があります。バッテリが充電されなくなった場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

バッテリが寿命に達した場合、そのバッテリを一般の家庭ごみと一緒に処分しないでください。使用済みのバッテリは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。

バッテリに関する詳細情報の確認

[HP Support Assistant]では、バッテリに関するツールと情報が提供されます。バッテリ情報にアクセスするには、スタート画面の **HP Support Assistant** アプリケーションを選択してから、**[バッテリおよびパフォーマンス]**を選択します。

- バッテリの性能をテストするための[HP バッテリ チェック]ツール
- バッテリの寿命を延ばすための、バッテリ ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

バッテリ情報にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ バッテリ情報にアクセスするには、スタート画面の **HP Support Assistant** アプリケーションを選択してから、**[バッテリおよびパフォーマンス]**を選択します。

[HP バッテリ チェック]の使用

[HP Support Assistant]では、コンピューターに取り付けられているバッテリの状態について情報を提供します。

[HP バッテリ チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

   注記： [HP バッテリ チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. バッテリ情報にアクセスするには、スタート画面の **HP Support Assistant** アプリケーションを選択してから、[**バッテリおよびパフォーマンス**]を選択します。

[HP バッテリ チェック]は、バッテリとそのセルを検査して、バッテリとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリ充電残量の表示

▲ Windows デスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にある[電源メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

バッテリの放電時間の最長化

バッテリの放電時間は、バッテリ電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリの容量は自然に低下するため、バッテリの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]で[**省電力**]設定を選択します。

ロー バッテリ状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

スタート画面で「コントロール」と入力して[コントロール パネル]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**電源オプション**]の順に選択します。

ロー バッテリ状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になった場合は、以下のようになります。

- バッテリ ランプ（一部のモデルのみ）が、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを示します。

または

- 通知領域の[電源メーター]アイコンが、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを通知します。

注記： 電源メーターについて詳しくは、41 ページの電源メーターおよび電源設定の使用を参照してください。

コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときに完全なロー バッテリ状態になると、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリ状態の解決

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態への対処方法

▲ 以下のデバイスのどれかをコンピューターおよび外部電源に接続します。

- AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは拡張製品
- HP からオプション製品として購入した電源アダプター

外部電源を使用できない場合のロー バッテリ状態への対処方法

電源を使用できない場合にロー バッテリ状態を解決するには、作業中のデータを保存してからコンピューターをシャットダウンします。

バッテリの節電

- スタート画面で「コントロール」と入力して[コントロール パネル]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**電源オプション**]の順に選択します。
- [電源オプション]で低消費電力設定を選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続と LAN 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 画面の輝度を下げます。
- しばらく作業を行わないときは、スリープを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

7　外付けカードおよび外付けデバイス

microSD メディア カードの使用

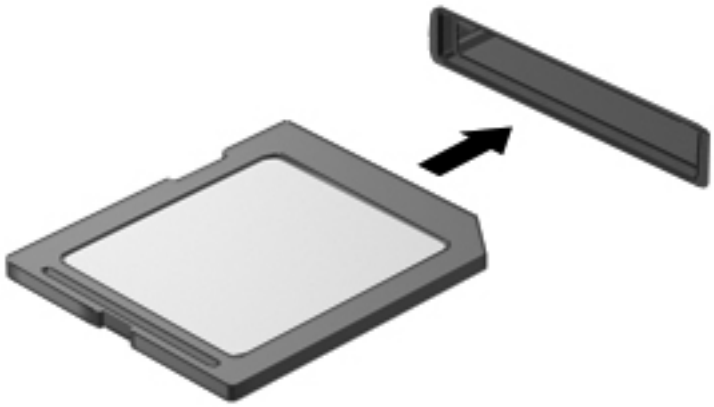
別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単に共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタル メディア対応のカメラや PDA などでよく使用されます。

お使いのコンピューターでサポートされているメディア カードの形式は、4 ページの「コンピューターの概要」を参照して確認してください。

メディア カードの挿入

⚠ **注意：**　メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードを挿入するときは無理な力を加えないでください。

1. カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. microSD メディア カード スロットにカードを挿入し、しっかりと収まるまでカードを押し込みます。

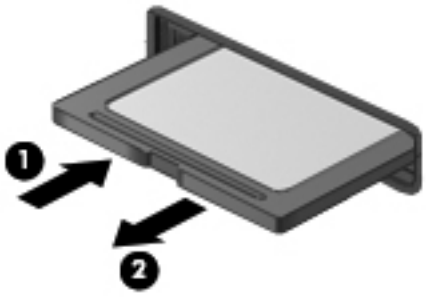


デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの取り出し

⚠ **注意：**　情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディア カードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。
2. Windows デスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。次に、画面の説明に沿って操作します。
3. カードをいったんスロットに押し込んで（1）、固定を解除してから取り出します（2）。



注記： カードを押しても出てこない場合は、スロットからカードを引き抜きます。

スマート カードの使用（一部のモデルのみ）

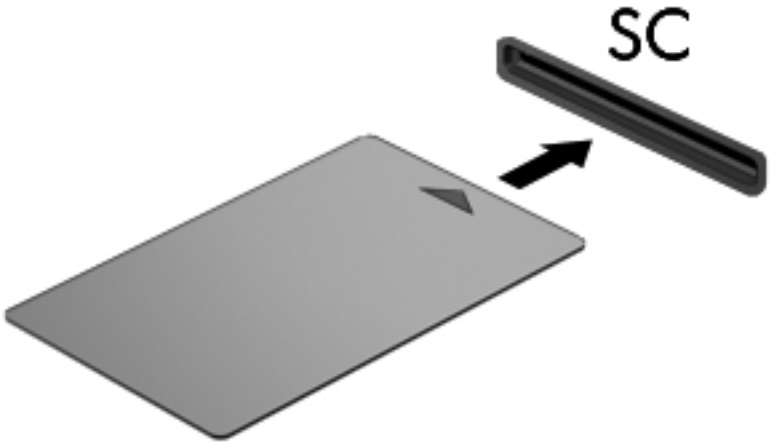
注記： この章で使用する「スマート カード」という用語は、スマート カードと Java™ Card の両方を指します。

スマート カードは、メモリおよびマイクロプロセッサが含まれているマイクロチップを搭載したクレジット カード サイズのオプション製品です。パーソナル コンピューターと同じように、スマート カードは入出力を管理するオペレーティング システムを内蔵し、改ざんを防止するためのセキュリティ機能を備えています。スマート カード リーダー（一部のモデルのみ）では業界標準のスマート カードを使用します。

マイクロチップの内容にアクセスするには、PIN が必要です。スマート カードのセキュリティ機能について詳しくは、[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

スマート カードの挿入

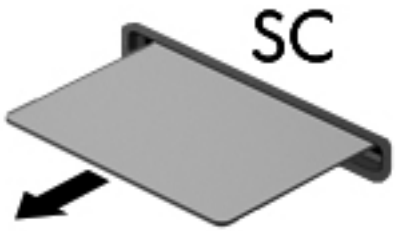
1. カードのラベル側を上にし、カードがしっかり収まるまで、スマート カード リーダーに静かにスライドさせて挿入します。



2. 画面上の説明に沿って、スマート カードの PIN を使用してコンピューターにログオンします。

スマート カードの取り出し

▲ スマート カードの両端の部分を持って、スマート カード リーダーから引き出します。



USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用

USB は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インターフェイスです。

USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、ソフトウェアの製造元の操作説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

コンピューターには USB ポートが複数あり、USB 1.0、USB 1.1、USB 2.0、および USB 3.0 の各デバイスに対応しています。お使いのコンピューターには、外付けデバイスに電力を供給できる電源オフ USB チャージ機能に対応した USB ポートも搭載されている場合があります。別売のドッキング デバイスまたは USB ハブには、コンピューターで使用できる USB ポートが装備されています。

USB デバイスの接続

⚠ **注意：** USB ポートの損傷を防ぐため、デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ デバイスの USB ケーブルを USB ポートに接続します。

注記： 以下の図は、お使いのコンピューターと多少異なる場合があります。

デバイスが検出されると音が鳴ります。

注記： 初めて USB デバイスを装着した場合は、デバイスがコンピューターによって認識されたことを示すメッセージが通知領域に表示されます。

USB デバイスの取り外し

⚠ **注意：** USB ポートの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときはケーブルを引っ張らないでください。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。

1. USB デバイスを取り外すには、情報を保存し、デバイスに関連するすべてのプログラムを閉じます。
2. Windows デスクトップのタスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックし、画面の説明に沿って操作します。
3. デバイスを取り外します。

別売の外付けデバイスの使用

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属している説明書を参照してください。

外付けデバイスをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

注意： 別途電力が供給されているデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れていて、外部電源コードがコンピューターに接続されていないことを確認してください。

1. デバイスをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なデバイスを接続した場合は、接地した外部電源のコンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. デバイスの電源を切ります。

別電源が必要でない外付けデバイスを取り外すときは、デバイスの電源を切り、コンピューターから取り外します。別電源が必要な外付けデバイスを取り外すときは、デバイスの電源を切り、コンピューターからデバイスを取り外した後、デバイスの電源コードを抜きます。

別売の外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。USB ドライブを追加するには、コンピューターの USB ポートに接続します。

注記： HP の外付け USB オプティカル ドライブを、コンピューターの電源オフ USB チャージ機能に対応した USB ポートに接続する必要があります。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール
- 外付けオプティカル ドライブ（CD、DVD、およびブルーレイ）
- マルチベイ デバイス

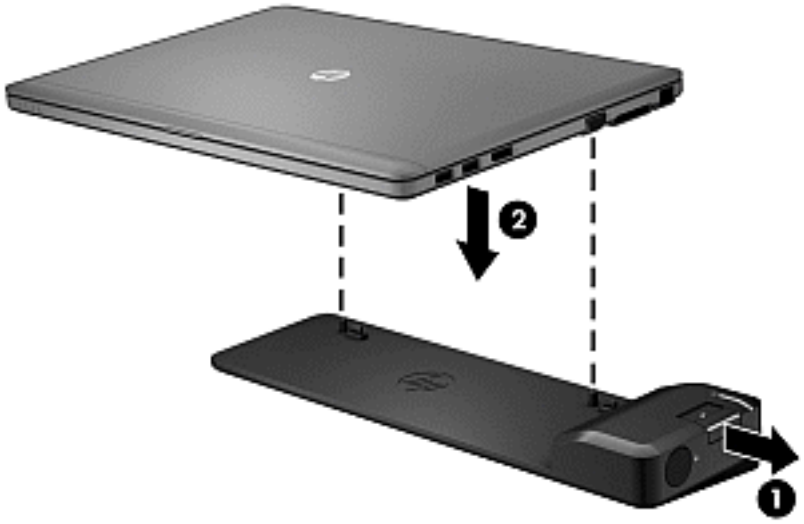
ドッキング コネクタの使用

ドッキング コネクタを使用して、コンピューターを別売のドッキング デバイスまたはミニ ドッキング ステーションに接続できます。別売のドッキング デバイスまたはミニ ドッキング ステーションには、コンピューターを装着すると使用できるポートおよびコネクタが装備されています。

注記： 以下の図は、お使いのコンピューター、ドッキング デバイス、またはミニ ドッキング ステーションと異なる場合があります。お使いのドッキング デバイスまたはミニ ドッキング ステーションに近い図を参照してください。

コンピューターをドッキング デバイスに接続するには、以下の操作を行います。

1. ドッキング デバイスの接続ボタンを引き出して（1）、ロック機構を解除します。
2. ドッキング デバイスのドッキング ポストの位置をコンピューターの裏面の穴に合わせ、コンピューターを、所定の位置に固定されるまでドッキング デバイスに向けて下ろします（2）。



3. ドッキング デバイスの接続ボタンを押し込んで（1）、ドッキング デバイスをコンピューターに固定します。コンピューターがドッキング デバイスに完全に装着されると、接続ランプ（2）が点灯します。

ミニ ドッキング ステーションをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

1. ミニ ドッキング ステーションのケーブル コネクタに、コンピューターのドッキング コネクタを合わせます。
2. ミニ ドッキング ステーションのケーブル コネクタをコンピューターのドッキング コネクタにスライドさせて、しっかりと収まるまで押し込みます。

8 ドライブ

ハードドライブの使用

⚠ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

メモリ モジュールやハードドライブの追加または交換を行う前に、作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

コンピューターの電源が切れているかわからない場合は、電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

[ディスク デフラグ]の使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。[ディスク デフラグ]を行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

注記： SSD（Solid State Drive）では、[ディスク デフラグ]を実行する必要はありません。

いったん[ディスク デフラグ]を開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで 1 時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピューターにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも 1 か月に 1 度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。[ディスク デフラグ]は 1 か月に 1 度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続します。
2. スタート画面で「コントロール」と入力し、[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→**[ドライブのデフラグと最適化]**の順に選択します。
3. **[最適化]**をクリックします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。[HP Support Assistant]を参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

詳しくは、[ディスク デフラグ ツール]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスク クリーンアップ]の使用

[ディスク クリーンアップ]を行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク クリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力し、[コントロール パネル]→**[システムとセキュリティ]**→**[ディスク領域の解放]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

9 セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外の[Computer Setup]ユーティリティ（BIOS）によって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

注記： コンピューターを修理などのためにサポートあてに送付する場合は、機密性の高いファイルのバックアップと削除、およびすべてのパスワード設定の削除を事前に行ってください。

注記： この章に記載されている一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

注記： お使いのコンピューターでは、オンライン セキュリティ ベースの追跡および復元サービスである[CompuTrace]がサポートされています（一部の地域のみ）。コンピューターが盗まれた場合、不正なユーザーがインターネットにアクセスすると、[CompuTrace]による追跡が行われます。[CompuTrace]を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[CompuTrace]ソフトウェアの購入については、HP の Web サイト http://hp-pt.absolute.com/（英語サイト）を参照してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	パスワード、スマート カード、非接触型カード、登録した指紋、またはその他の認証資格情報と、[HP Client Security]の組み合わせ
[Computer Setup]（f10）への不正なアクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）*
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	[Computer Setup]の DriveLock パスワードまたは自動 DriveLock パスワード*
別売の外付けオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）、別売の外付けハードドライブ（一部のモデルのみ）、または内蔵ネットワーク アダプターからの不正な起動	[Computer Setup]の[Boot options]（ブート オプション）機能 *
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	Windows ユーザー パスワード
データへの不正なアクセス	• [HP Drive Encryption]ソフトウェア • Windows Defender
[Computer Setup]設定などのシステム識別情報への不正なアクセス	[Computer Setup]の BIOS administrator password*

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

* [Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティです。オペレーティング システムが動かなかったり読み込まれなかったりする場合でも使用できます。[Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティング デバイス（タッチパッド、ポイント スティック、または USB マウス）またはキーボードを使用します。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは Windows で設定するか、コンピューターにプリインストールされた、Windows が起動する前に機能する[Computer Setup]ユーティリティで設定できます。

- BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）および DriveLock パスワードは[Computer Setup]で設定され、システム BIOS によって管理されます。
- 自動 DriveLock パスワードは[Computer Setup]で有効にされます。
- Windows パスワードは、Windows オペレーティング システムでのみ設定されます。
- 事前に[HP SpareKey]を登録していた場合は、[Computer Setup]で設定した BIOS administrator password を忘れてしまっても、[HP SpareKey]を使用して[Computer Setup]にアクセスできます。
- [Computer Setup]で設定した DriveLock の user password（ユーザー パスワード）および DriveLock の master password（マスター パスワード）の両方を忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、恒久的に使用できなくなります。

[Computer Setup]の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数の[Computer Setup]機能に同じパスワードを使用することもできます。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従ってください。
- 同じパスワードを複数のアプリケーションや Web サイトに使用しないでください。また、Windows パスワードを他のアプリケーションや Web サイトに再利用しないでください。
- [HP Client Security]の[Password Manager]を使用すると、すべての Web サイトやアプリケーションに対するユーザー名およびパスワードを保存しておけます。それらのユーザー名やパスワードを思い出せなくなった場合に、安全に読み出すことができます。
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しないでください。

以下の表で、一般に使用される Windows パスワードおよび BIOS administrator password を示し、それぞれの機能について説明します。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します **注記：** Windows の管理者パスワードを設定しても、BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）は設定されません
ユーザー パスワード *	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します
* Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、スタート画面から[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。	

[Computer Setup]でのパスワードの設定

パスワード	機能
BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）*	[Computer Setup]へのアクセスを保護します **注記：** BIOS administrator password の削除を防ぐ機能が有効になっている場合、その機能が無効にされるまでは削除できないことがあります
DriveLock の master password（マスター パスワード）*	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。また、DriveLock による保護の解除に使用します。このパスワードは DriveLock パスワードを有効にする操作の過程で設定します **注記：** DriveLock パスワードを設定できるようにするには、BIOS administrator password を設定する必要があります
DriveLock の user password（ユーザー パスワード）*	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。DriveLock パスワードを有効にする操作の過程で設定します **注記：** DriveLock パスワードを設定できるようにするには、BIOS administrator password を設定する必要があります
* 各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。	

BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）の管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

新しい BIOS administrator password の設定

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Setup BIOS Administrator Password]**（BIOS 管理者パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、パスワードを入力します。
5. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
6. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、**[Save]**（保存）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password の変更

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Change Password]**（パスワードの変更）の順に選択し、enter キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力します。
6. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password の削除

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Change Password]**（パスワードの変更）の順に選択し、enter キーを押します。
4. メッセージが表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして enter キーを押します。
6. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、**[Yes]**（はい）を選択します。

7. 再度、新しいパスワードを入力するように要求されたら、フィールドを空欄のままにして、enter キーを押します。

8. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）の入力

[BIOS administrator password]の入力画面で自分のパスワードを入力し（パスワード設定と同じキーを使用）、enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動して入力しなおす必要があります。

[Computer Setup]の DriveLock パスワードの管理

注意： DriveLock で保護されているハードドライブが恒久的に使用できなくなることを防ぐため、DriveLock の user password（ユーザー パスワード）と master password（マスター パスワード）を、紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。DriveLock パスワードを両方とも忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、恒久的に使用できなくなります。

DriveLock で保護することによって、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止できます。DriveLock による保護は、コンピューターの内蔵ハードドライブにのみ設定できます。いったん DriveLock による保護を設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLock のパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブをアドバンスト ポート リプリケーターではなく、コンピューターに装着しておく必要があります。

注記： DriveLock 機能にアクセスできるようにするには、BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を設定する必要があります。

DriveLock による保護をコンピューターの内蔵ハードドライブに設定するには、[Computer Setup]で user password および master password を設定しておく必要があります。DriveLock による保護を設定するときは、以下の点に注意してください。

- いったん DriveLock による保護を設定すると、user password または master password のどちらかを入力することでのみ、保護されているハードドライブにアクセスできるようになります。
- user password は、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザーが設定する必要があります。master password は、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザーが設定できます。
- user password と master password は、同じであってもかまいません。
- DriveLock によるドライブの保護を解除しないと、user password や master password を削除できません。DriveLock によるハードドライブの保護を解除するには、master password が必要です。

DriveLock パスワードの設定

[Computer Setup]で DriveLock パスワードを設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Hard Drive Tools]**（ハードドライブ ツール）→**[DriveLock]**の順に選択し、enter キーを押します。
4. [Set DriveLock Password (global)]（DriveLock パスワードの設定（グローバル））をクリックします。
5. BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を入力し、enter キーを押します。
6. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、保護するハードドライブを選択し、enter キーを押します。
7. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、**[Yes]**（はい）を選択します。
8. メッセージが表示されたら、master password（マスター パスワード）を入力して、enter キーを押します。
9. メッセージが表示されたら、確認のために master password を再度入力して、enter キーを押します。
10. メッセージが表示されたら user password（ユーザー パスワード）を入力して、enter キーを押します。
11. メッセージが表示されたら、確認のために user password を再度入力して、enter キーを押します。
12. 選択したドライブが DriveLock によって保護されているかを確認するには、確認フィールドに「`DriveLock`」と入力し、enter キーを押します。

> **注記：** DriveLock の確認フィールドでは大文字と小文字が区別されます。

13. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

    または

    矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

DriveLock パスワードの入力

ハードドライブが、別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなくコンピューター本体のハードドライブ ベイに装着されていることを確認します。

[DriveLock Password]（DriveLock パスワード）画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して user password（ユーザー パスワード）または master password（マスター パスワード）を入力し、enter キーを押します。

パスワードを 2 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

DriveLock パスワードの変更

[Computer Setup]で DriveLock パスワードを変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Hard Drive Tools]**（ハードドライブ ツール）→**[DriveLock]**の順に選択し、enter キーを押します。
4. BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を入力し、enter キーを押します。
5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[Set DriveLock Password]（DriveLock パスワードの設定）を選択し、enter キーを押します。
6. 矢印キーを使用して、内蔵ハードドライブを選択し、enter キーを押します。
7. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Change Password]**（パスワードの変更）を選択します。
8. メッセージが表示されたら現在のパスワードを入力して、enter キーを押します。
9. メッセージが表示されたら新しいパスワードを入力して、enter キーを押します。
10. メッセージが表示されたら、確認のために新しいパスワードを再度入力して、enter キーを押します。
11. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

    または

    矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

DriveLock による保護の解除

[Computer Setup]で DriveLock による保護を解除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Hard Drive Tools]**（ハードドライブ ツール）→**[DriveLock]**の順に選択し、enter キーを押します。
4. BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を入力し、enter キーを押します。

5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[Set DriveLock Password]（DriveLock パスワードの設定）を選択し、enter キーを押します。
6. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して内蔵ハードドライブを選択し、enter キーを押します。
7. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、[Disable protection]（保護を無効にする）を選択します。
8. master password（マスター パスワード）を入力して、enter キーを押します。
9. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、[Save]（保存）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して[Main]（メイン）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の自動 DriveLock の使用

複数のユーザーがいる環境では、自動 DriveLock パスワードを設定できます。自動 DriveLock パスワードを有効にすると、ランダムな user password（ユーザー パスワード）と DriveLock の master password（マスター パスワード）が作られます。ユーザーのパスワード認証が通ると、同じランダムな user password と DriveLock の master password が使用され、ドライブの保護が解除されます。

注記： 自動 DriveLock 機能にアクセスできるようにするには、BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を設定する必要があります。

自動 DriveLock パスワードの入力

[Computer Setup]で自動 DriveLock パスワードを有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[Security]（セキュリティ）→[Hard Drive Tools]（ハードドライブ ツール）→[Automatic DriveLock]（自動 DriveLock）の順に選択し、enter キーを押します。
4. BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を入力し、enter キーを押します。
5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して内蔵ハードドライブを選択し、enter キーを押します。
6. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[Yes]（はい）を選択します。
7. 変更を保存してから[Computer Setup]を終了するには、[Save]（保存）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

矢印キーを使用して[Main]（メイン）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

自動 DriveLock による保護の解除

[Computer Setup]で DriveLock による保護を解除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して[Security]（セキュリティ）→[Hard Drive Tools]（ハードドライブ ツール）→[Automatic DriveLock]（自動 DriveLock）の順に選択し、enter キーを押します。
4. BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）を入力し、enter キーを押します。
5. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して内蔵ハードドライブを選択し、enter キーを押します。
6. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して、[Disable protection]（保護を無効にする）を選択します。
7. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある[Save]（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して[Main]（メイン）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューター ウィルスの危険にさらされる可能性があります。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、およびユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスを検出および駆除することができ、通常、ウィルスの被害にあった箇所を修復することもできます。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには[Windows Defender]がプリインストールされています。ウィルス対策プログラムを引き続き使用して、お使いのコンピューターを確実に保護することを強くおすすめします。

コンピューター ウィルスについて詳しくは、[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で[HP Support Assistant]アプリケーションを選択します。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

ファイアウォールは、システムやネットワークへの不正なアクセスを防ぐように設計されています。ファイアウォールには、コンピューターやネットワークにインストールするソフトウェア プログラムもあれば、ハードウェアとソフトウェアの両方から構成されるソリューションもあります。

検討すべきファイアウォールには以下の 2 種類があります。

- ホストベースのファイアウォール : インストールされているコンピューターだけを保護するソフトウェアです。
- ネットワークベースのファイアウォール : DSL モデムまたはケーブル モデムとホーム ネットワークの間に設置して、ネットワーク上のすべてのコンピューターを保護します。

ファイアウォールをシステムにインストールすると、そのシステムとの間で送受信されるすべてのデータが監視され、ユーザーの定義したセキュリティ基準と比較されます。セキュリティ基準を満たしていないデータはすべてブロックされます。

お使いのコンピューターまたはネットワーク機器には、ファイアウォールがすでにインストールされている場合があります。インストールされていない場合は、ファイアウォール ソフトウェア ソリューションを使用できます。

注記 : 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急セキュリティ アップデートのインストール

注意 : Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

アップデートを自動的にインストールするかどうかを選択できます。設定を変更するには、スタート画面で「コントロール」と入力して**[コントロール パネル]**を選択します。**[システムとセキュリティ]**→**[Windows Update]**→**[設定の変更]**の順に選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Client Security]の使用（一部のモデルのみ）

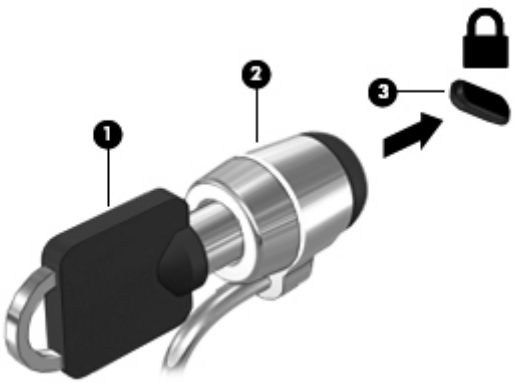
お使いのモデルのコンピューターには、[HP Client Security]ソフトウェアがプリインストールされています。このソフトウェアにアクセスするには、スタート画面の[HP Client Security]タイル、タスクバーの右端の通知領域にある[HP Client Security]アイコン、または Windows の[コントロール パネル]を使用します。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピューター本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するために役立ちます。詳しくは、[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続

注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

注記： お使いのコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロットは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。お使いのコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロットの位置については、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

1. 机や柱などの固定されているものにセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵（1）をケーブル ロック（2）に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット（3）に差し込み、鍵をかけます。



指紋認証システムの使用

一部のモデルのコンピューターでは、内蔵の指紋認証システムを使用できます。指紋認証システムを使用するには、[HP Client Security]の[Credential Manager]で指紋を登録する必要があります。[HP Client Security]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[Credential Manager]で指紋を登録すると、[HP Client Security]の[Password Manager]を使用して、対応している Web サイトやアプリケーションでユーザー名およびパスワードを保存および入力できます。

指紋認証システムの位置

指紋認証システムは小さい金属製センサーで、コンピューターの以下のどこかの場所にあります。

- タッチパッドの下部付近
- キーボードの右側
- ディスプレイの右上
- ディスプレイの左側

コンピューターのモデルによって、指紋認証システムは横向きの場合も縦向きの場合もあります。どちらの向きでも、金属製センサーと垂直に指を滑らせる必要があります。お使いのコンピューターの指紋認証システムの位置については、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

10 メンテナンス

コンピューターの清掃

お使いのコンピューターを安全に清掃するには、以下の製品を使用します。

- 濃度が 0.3%までのジメチル ベンジル塩化アンモニウム（使い捨てシートはさまざまな商品名で販売されています）
- ノンアルコールのガラス用クリーナー
- 低刺激性の液体石けん
- 乾いたマイクロファイバーのクリーニング クロスまたはセーム皮（油分を含まない、静電気防止布）
- 静電気防止クリーニング シート

⚠ **注意：** コンピューターに修復できない傷が付いてしまう可能性があるため、強力なクリーニング溶剤は使用しないでください。クリーニング製品がコンピューターに対して安全かどうかわからない場合は、製品にアルコール、アセトン、塩化アンモニウム、塩化メチレン、炭化水素などが含まれていないかどうか確認します。

ペーパー タオルなどの繊維素材を使用すると、コンピューターに傷が付く可能性があります。時間がたつにつれて、ほこりの粒子や洗浄剤がその傷の中に入り込んでしまう場合があります。

清掃手順

お使いのコンピューターを安全に清掃するため、このセクションの手順に沿って作業をしてください。

⚠ **警告！** 感電やコンポーネントの損傷を防ぐため、電源が入っているときにコンピューターを清掃しないでください。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. 外部電源を取り外します。
3. 電源が供給されていたすべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ **注意：** 内部コンポーネントへの損傷を防ぐため、コンピューターに洗浄剤や液体を直接吹きかけないでください。表面から流れ落ちた液体によって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

ディスプレイの清掃（オールインワンまたはノートブック コンピューター）

ディスプレイは、ノンアルコールのガラス用クリーナーで湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。ディスプレイを閉じる前に、ディスプレイが乾いていることを確認してください。

側面またはカバーの清掃

側面またはカバーを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。

注記： コンピューターのカバーを清掃する場合は、ごみやほこりを除去するため、円を描くように拭いてください。

タッチパッド、キーボード、またはマウスの清掃

警告！ 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

注意： 内部のコンポーネントへの損傷を防ぐため、キーとキーの間にクリーナーなどの液体が垂れないようにしてください。

- タッチパッド、キーボード、またはマウスを清掃するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨てシートを使用してください。
- キーが固まらないようにするため、また、キーボードからごみや糸くず、細かいほこりを取り除くには、コンピューターの清掃用のブロアー（圧縮空気入りの缶）などを使用してください。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に最新バージョンへと更新することをおすすめします。最新バージョンをダウンロードするには、http://www.hp.com/support/ にアクセスしてください。アップデートが使用可能になったときに自動更新通知を受け取るように登録することもできます。

[HP SoftPaq Download Manager]（HP SoftPaq ダウンロードマネージャー）の使用

[HP SoftPaq Download Manager]（HP SDM）は、SoftPaq 番号がわからない場合でも HP 製ビジネス向けコンピューターの SoftPaq 情報にすばやくアクセスできるツールです。このツールを使用すると、SoftPaq の検索、ダウンロード、および展開を簡単に実行できます。

[HP SoftPaq Download Manager]は、コンピューターのモデルや SoftPaq の情報を含む公開データベース ファイルを、HP の FTP サイトから読み込み、ダウンロードすることによって動作します。[HP SoftPaq Download Manager]を使用すると、コンピューターのモデルを 1 つまたは複数指定し、利用可能な SoftPaq を調べてダウンロードできます。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の FTP サイトをチェックし、データベースおよびソフトウェアの更新がないかどうかを確認します。更新が見つかると、自動的にその更新がダウンロードされて、適用されます。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の Web サイトから入手できます。[HP SoftPaq Download Manager]を使用して SoftPaq をダウンロードするには、まず、[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードおよびインストールを行う必要があります。HP の Web サイト http://www.hp.com/go/sdm/（英語サイト）を表示して、画面の説明に沿って[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードとインストールを行います。

SoftPaq をダウンロードするには、以下の操作を行います。

- スタート画面で「s」と入力します。検索ボックスで「softpaq」と入力し、[HP SoftPaq Download Manager]を選択します。画面の説明に沿って SoftPaq をダウンロードします。

注記： [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

11 バックアップおよび復元

情報を保護するには、Windows の[バックアップと復元]ユーティリティを使用して、個々のファイルやフォルダーをバックアップしたり、ハードドライブ全体をバックアップしたり、コンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）または外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してシステム修復メディアを作成したり（一部のモデルのみ）、システムの復元ポイントを作成したりします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用して、コンピューターの内容を復元できます。

スタート画面で「復元」と入力して**[設定]**をクリックし、表示されるオプションの一覧から選択します。

注記： 各種のバックアップおよび復元オプションの詳しい手順については、[HP Support Assistant]でこれらの項目を参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

システムが不安定な場合に備え、復元の手順を印刷し、後で利用できるように保管しておくことをおすすめします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[HP Support Assistant]にアクセスしてください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

情報のバックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態に復元されます。システムの最初のセットアップが終了したら、すぐにシステム修復メディアおよび初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

Windows のバックアップ機能について詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

システムの復元の実行

お使いのコンピューターには、システムの障害やシステムが不安定な場合に備え、ファイルを復元する以下のツールが用意されています。

- Windows リカバリ ツール：Windows の[バックアップと復元]を使用して、以前バックアップを行った情報を復元できます。また、Windows の[自動修復]を使用して、Windows が正常に起動できなくなる可能性のある問題を修復できます。
- f11 リカバリ ツール：f11 リカバリ ツールを使用して、初期状態のハードドライブのイメージを復元できます。このイメージには、工場出荷時にインストールされていた Windows オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムが含まれます。

注記： コンピューターを起動できず、以前に作成したシステム修復メディア（一部のモデルのみ）を使用できない場合は、Windows 8 オペレーティング システムのメディアを購入してコンピューターを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。詳しくは、71 ページの Windows オペレーティング システムのメディア（別売）の使用 を参照してください。

Windows リカバリ ツールの使用

以前バックアップした情報を復元するには、以下の操作を行います。

▲ [HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で、**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

[自動修復]を使用して情報を復元するには、以下の操作を行います。

注意： 一部の[スタートアップ修復]オプションでは、ハードドライブが完全に消去され、再フォーマットされる場合があります。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、復元に使用されるバックアップから、オペレーティング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、復元イメージ用のパーティションおよび Windows のパーティションがあることを確認します。

   スタート画面で「エクスプローラー」と入力して**[エクスプローラー]**をクリックします。

   または

   スタート画面で「pc」と入力して**[PC]**を選択します。

   注記： Windows パーティションと復元イメージ用パーティションが一覧に表示されない場合は、Windows オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）メディア（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、71 ページの Windows オペレーティング システムのメディア（別売）の使用 を参照してください。
3. Windows のパーティションおよび復元イメージ用のパーティションが一覧に表示される場合は、shift キーを押しながら**[再起動]**をクリックして、コンピューターを再起動します。
4. **[トラブルシューティング]**→**[詳細オプション]**→**[スタートアップ修復]**の順に選択します。
5. 画面の説明に沿って操作します。

注記： Windows ツールを使用した情報の復元について詳しくは、[HP Support Assistant]でこれらの項目を参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

f11 リカバリ ツールの使用

⚠ **注意：** f11 を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。f11 キーのリカバリ ツールを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システム、HP プログラム、およびドライバーが再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、再インストールする必要があります。

f11 を使用して初期状態のハードドライブのイメージを復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、復元イメージ用のパーティションがあることを確認します。スタート画面で「pc」と入力して[PC]を選択します。

   注記： 復元イメージ用のパーティションが一覧に表示されない場合は、Windows オペレーティング システムのメディアおよび『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）メディア（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、71 ページの Windows オペレーティング システムのメディア（別売）の使用 を参照してください。
3. 復元イメージ用パーティションが一覧に表示される場合は、コンピューターを再起動してから、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
4. [Press <f11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
5. 画面の説明に沿って操作します。

Windows オペレーティング システムのメディア（別売）の使用

Windows オペレーティング システムの DVD を購入するには、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本のサポート窓口については、日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されています。また、HP の Web サイトから HP のサポート窓口を検索することもできます。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域については、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

⚠ **注意：** Windows オペレーティング システムのメディアを使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、オペレーティング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

Windows オペレーティング システムの DVD を使用して復元を開始するには、以下の操作を行います。

注記： この処理には数分かかる場合があります。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. Windows オペレーティング システムの DVD をオプティカル ドライブに挿入してから、コンピューターを再起動します。

3. 指示が表示されたら、任意のキーボード キーを押します。

4. 画面の説明に沿って操作します。

修復が完了したら以下の操作を行います。

1. Windows オペレーティング システムのメディアを取り出して、『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）メディアを挿入します。

2. まずハードウェア有効化ドライバーをインストールし、その後で推奨アプリケーションをインストールします。

Windows のリフレッシュまたは Windows のリセットの使用

お使いのコンピューターが正常に動作せず、システムの安定性を回復する必要がある場合は、Windows の[リフレッシュ]オプションを使用すると、重要なものを保持したまま元の状態に戻すことができます。

Windows のリセット オプションを使用すると、お使いのコンピューターのきめ細かい再フォーマットを実行したり、コンピューターの譲渡やリサイクルの前に個人情報を削除したりできます。これらの機能について詳しくは、[HP Support Assistant]を参照してください。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で、**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

[HP Software Setup]（HP ソフトウェア セットアップ）の使用

[HP Software Setup]を使用すると、ドライバーの再インストールや、破損したまたはシステムから削除されたソフトウェアの選択が可能になります。

1. スタート画面で「`HP Software Setup`」と入力します。

2. [HP Software Setup]を開きます。

3. 画面の説明に沿って操作し、ドライバーまたは選択したソフトウェアを再インストールします。

12 [Computer Setup]（BIOS）、マルチブート、および[HP PC Hardware Diagnostics]（HP PC ハードウェア診断）（UEFI）

[Computer Setup]の使用

BIOS（Basic Input/Output System）とも呼ばれる[Computer Setup]は、システム上のすべての入出力デバイス（ディスク ドライブ、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンターなど）間で行われる通信を制御します。[Computer Setup]を使用すると、取り付けるデバイスの種類、コンピューターの起動順序、およびシステム メモリと拡張メモリの容量を設定できます。

注記： [Computer Setup]で設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

[Computer Setup]の開始

注記： [Computer Setup]では、USB レガシー サポート機能が有効な場合にのみ、USB ポートに接続された外付けキーボードまたはマウスを使用できます。

[Computer Setup]を開始するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]で移動および選択するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。

   注記： [Computer Setup]で項目間を移動したり項目を選択したりするには、ポインティング デバイス（タッチパッド、ポイント スティック、または USB マウス）またはキーボードを使用します。

2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、ポインティング デバイスを使用して項目をクリックするか、キーボードの tab キーや矢印キーを使用して項目を移動してから enter キーを押します。
- 画面を上下にスクロールするには、ポインティング デバイスを使用して画面の右上隅にある上向き矢印または下向き矢印をクリックするか、キーボードの上向き矢印キーまたは下向き矢印キーを使用します。
- 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、esc キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

[Computer Setup]のメニューを終了するには、以下のどれかの方法を選択します。

- 変更を保存しないで[Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。

  画面の右下隅にある**[Exit]**（終了）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

  または

  tab キーおよび矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Ignore Changes and Exit]**（変更を無視して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

- 変更を保存して[Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。

  画面の右下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

  または

  tab キーおよび矢印キーを使用して**[Main]**→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

注記： 初期設定を復元しても、ハードドライブのモードには影響ありません。

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Restore Defaults]**（初期設定に設定）の順に選択します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。
5. 変更を保存して終了するには、画面の右下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

矢印キーを使用して**[Main]→[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

注記： 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

BIOS の更新

HP の Web サイトから、更新されたバージョンの BIOS（BIOS アップデート）を入手できる場合があります。

HP の Web サイトでは、多くの BIOS アップデートが「SoftPaq」という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS のバージョン情報（**ROM 日付**または**システム BIOS** とも呼ばれます）を表示するには、fn ＋ esc キーを押す（Windows を起動している場合）か、または[Computer Setup]を使用します。

1. [Computer Setup]を開始します。
2. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）**→[System Information]**（システム情報）の順に選択します。
3. 変更を保存しないで[Computer Setup]を終了するには、画面の右下隅にある**[Exit]**（終了）アイコンをクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   tab キーおよび矢印キーを使用して**[Main]→[Ignore Changes and Exit]**（変更を無視して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

⚠ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリ電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

1. スタート画面で「`support`」と入力して[HP Support Assistant]アプリケーションを選択します。
2. **[更新および調整タスク]→[HP の更新プログラムを今すぐ確認]**の順にクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作します。
4. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。
   a. 最新の BIOS アップデートを確認し、お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンと比較します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
   b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

      アップデートが使用している BIOS よりも新しい場合は、BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

注記： コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「エクスプローラー」と入力して、**[エクスプローラー]**を選択します。
2. ハードドライブをクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:）]を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。

   BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

マルチブートの使用

ブート デバイスの順序について

お使いのコンピューターを起動するとき、システムは有効なデバイスからブートします。マルチブート ユーティリティ（初期設定の状態で有効に設定されています）を使用すると、コンピューターの起動時にデバイスを選択する順序を制御できます。ブート デバイスには、オプティカル ドライブ、フロッピーディスク ドライブ、ネットワーク インターフェイス カード（NIC）、ハードドライブ、USB ドライブなどを含めることができます。ブート デバイスには、コンピューターの起動や適切な動作に必要となる、ブート可能なメディアやファイルが含まれます。

注記： 一部のブート デバイスは、ブート順序に含める前に[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。

[Computer Setup]でブート順序を変更すれば、ブート デバイスの検索順序を変更できます。画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押してから、f9 キーを押して変更することもできます。f9 キーを押すと、現在のブート デバイスを示すメニューが表示され、ブート デバイスの選択が可能になります。または、MultiBoot Express を使用すれば、コンピューターを起動または再起動するたびにブートの場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

マルチブート設定の選択

マルチブートを使用すると、以下のことが可能になります。

- [Computer Setup]でブート順序を変更することで、コンピューターを起動するたびに使用されるブート順序を新しく設定します。
- ブート デバイスを動的に選択するには、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押し、次に f9 キーを押して、ブート デバイスのオプション メニューに入ります。
- MultiBoot Express を使用して可変ブート順序を設定します。この機能によって、コンピューターの起動または再起動のたびにブート デバイスの確認メッセージが表示されます。

[Computer Setup]での新しいブート順序の設定

[Computer Setup]を開始し、コンピューターを起動または再起動するたびに、使用されるブート デバイスの順序を設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Advanced]**（詳細設定）→**[Boot Options]**（ブート オプション）→**[UEFI Boot Order for UEFI Hybrid]**（UEFI ハイブリッド用 UEFI ブート順序）または**[UEFI Native Boot Mode]**（UEFI ネイティブ ブート モード）の順に選択するか、**[Advanced]**→**[Boot Options]**→**[Legacy Boot Order for Legacy Boot Mode]**（レガシー ブート モード用レガシー ブート順序）の順に選択し、enter キーを押します。

4. デバイスのブート順序を上げるには、ポインティング デバイスを使用して上向き矢印をクリックするか、＋キーを押します。

   または

   デバイスのブート順序を下げるには、ポインティング デバイスを使用して下向き矢印をクリックするか、－キーを押します。

5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

f9 キーの画面を使用したブート デバイスの動的な選択

現在の起動でブート デバイスを動的に選択するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]メッセージが表示されている間に esc キーを押して、[Select Boot Device]（ブート デバイスの選択）メニューを開きます。
2. f9 キーを押します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用してブート デバイスを選択し、enter キーを押します。

MultiBoot Express プロンプトの設定

[Computer Setup]を開始し、コンピューターを起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように設定するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
2. f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
3. ポインティング デバイスまたは矢印キーを使用して**[Advanced]**（詳細設定）→**[Boot Options]**（ブート オプション）→**[Multiboot Express Boot Popup Delay (Sec)]**（マルチブート高速ブート ポップアップの遅延（秒））の順に選択し、enter キーを押します。
4. **[MultiBoot Express Popup Delay (Sec)]**（Multiboot Express ポップアップの遅延（秒））フィールドで、現在のマルチブート設定が使用される前に起動場所メニューが表示される時間を秒単位で入力します （0 を選択すると、Express Boot 起動場所メニューは表示されません）。
5. 変更を保存して[Computer Setup]を終了するには、画面の左下隅にある**[Save]**（保存）アイコンをクリックしてから画面に表示される説明に沿って操作します。

   または

   矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

MultiBoot Express 設定の入力

起動時に[Express Boot]（高速ブート）メニューが表示された場合は、以下の操作を行います。

- [Express Boot]メニューからブート デバイスを指定するには、割り当て時間内に目的のデバイスを選択し、enter キーを押します。
- 現在のマルチブート設定が使用されないようにするには、割り当て時間が終わる前に、[enter] キー以外の任意のキーを押します。ブート デバイスを選択して enter キーを押すまで、コンピューターは起動しません。
- 現在のマルチブート設定を使用してコンピューターを起動するには、割り当て時間が終わるまで何も操作を行わずに待ちます。

[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）の使用（一部のモデルのみ）

[HP PC Hardware Diagnostics]（HP PC ハードウェア診断）は、UEFI（Unified Extensible Firmware Interface）であり、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。このツールは、オペレーティング システムやその他のソフトウェア コンポーネントのために発生する可能性のある問題からハードウェア障害を分離するために、オペレーティング システムの外部で動作します。

[HP PC Hardware Diagnostics] UEFI を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるかコンピューターを再起動して、すばやく esc キーを押してから f2 キーを押します。

   f2 キーを押すと、BIOS は 3 つの場所を以下の順序で検索し、[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）ツールを探します。

   a. 接続されている USB ドライブ

   注記： [HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）ツールを USB ドライブにダウンロードするには、80 ページの USB デバイスへの[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）のダウンロード を参照してください。

   b. ハードドライブ

   c. BIOS

2. 実行する診断テストの種類をクリックし、画面に表示される説明に沿って操作します。

注記： 診断テストの実行中にテストを停止する必要がある場合は、esc キーを押します。

USB デバイスへの[HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）のダウンロード

注記： [HP PC Hardware Diagnostics]（UEFI）のダウンロードの説明は、英語でのみ提供されています。

1. http://www.hp.com/ （英語サイト）から[日本]を選択します。
2. **[サポート&ドライバー]**をクリックし、**[ドライバー&ダウンロード]**タブをクリックします。
3. テキスト ボックスに製品名を入力し、**[検索]**をクリックします。
4. お使いのコンピューターの製品名を選択し、お使いのオペレーティング システムを選択します。
5. [診断]セクションで、**[HP UEFI Support Environment]**をクリックします。

   または

   [ダウンロード]をクリックし、**[実行]**を選択します。

13 サポート

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドおよび[HP Support Assistant]で提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイトまたは日本向けの日本語モデル製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことができます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

注記： 特定の言語で HP のサポート窓口とのチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- HP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる
- HP のサポート窓口の電話番号を調べる
- HP のサービス センターを探す

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な基本情報が記載されています。

重要： このセクションで説明するすべてのラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

これらの場所を確認する方法については、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

- サービス ラベル: お使いのコンピューターを識別するための重要な情報が記載されています。サポートにお問い合わせになる場合はシリアル番号が必要です。さらに、製品番号またはモデル番号を求められる可能性があります。お問い合わせになる前に、これらの番号を確認しておいてください。

名称	
(1)	保証期間
(2)	モデル番号（一部のモデルのみ）
(3)	シリアル番号
(4)	製品番号

- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。

14 仕様

- 入力電源
- 動作環境

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作します。

入力電源	定格
動作電圧および電流	19.5 V DC（2.31 A、45 W の場合） 19.5 V DC（3.33 A、65 W の場合）

注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	国際単位系
温度	
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	**5～35°C**
非動作時	**-20～60°C**
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	**10～90%**
非動作時	**5～95%**
最大標高（非与圧）	
動作時	**-15～3,048 m**
非動作時	**-15～12,192 m**

A　コンピューターの持ち運び

コンピューターを最適な状態で使用するには、持ち運びおよび送付に関する以下の情報をお読みください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
  - 情報をバックアップします。
  - すべてのディスク、およびすべての外付けメディア カード（メモリ カードなど）を取り外します。

    ⚠ **注意：** コンピューターやドライブの破損、または情報の損失を防ぐため、ドライブをドライブ ベイから取り外す前およびドライブを運搬、保管、または移動する前に、ドライブからメディアを取り出してください。
  - すべての外付けデバイスを、電源を切ってから取り外します。
  - コンピューターをシャットダウンします。
- 情報のバックアップを携帯します。バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。

⚠ **注意：** ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルト コンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。機内でコンピューターを使用する場合は、事前に航空会社に確認してください。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。
- コンピューターに無線デバイスまたは HP モバイル ブロードバンド モジュール（802.11b/g デバイス、GSM（Global System for Mobile Communications）デバイス、GPRS（General Packet Radio Service）デバイスなど）が搭載されている場合、これらのデバイスの使用は制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。特定の機器の使用に適用される規定が不明な場合は、電源を入れる前に、使用可能かどうかを確認して許可を得てください。
- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。

- 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
- 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域の HP 製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

⚠ **警告！** 感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

B　トラブルシューティング

この付録では、以下の項目について説明します。

トラブルシューティング情報

- [HP Support Assistant]から、Web サイトへのリンクやコンピューターに関する追加情報にアクセスできます。[HP Support Assistant]にアクセスするには、スタート画面で**[HP Support Assistant]**アプリケーションを選択します。

注記：　検査ツールおよび修復ツールには、使用するためにインターネットへの接続が必要になるものもあります。HP では、インターネットに接続する必要がないツールも追加で提供しています。

- HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

  以下の種類のサポートから選択します。

  - HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

    注記：　特定の言語でチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

  - HP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる
  - 各国の HP のサポート窓口の電話番号を調べる
  - HP のサービス センターを探す

問題の解決方法

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

コンピューターが起動しない場合

電源ボタンを押してもコンピューターの電源が入らない場合は、コンピューターが起動しない原因の解明に以下の情報が役立つ場合があります。

- コンピューターが電源コンセントに接続されている場合は、別の電化製品をそのコンセントに接続してみるなどして、そのコンセントから電力が正しく供給されていることを確認します。

注記： このコンピューターでは、コンピューターに付属していた AC アダプターまたはこのコンピューターでの使用が HP から許可されている AC アダプターのみを使用してください。

- コンピューターが電源コンセント以外の外部電源に接続されている場合、AC アダプターを使用してコンピューターを電源コンセントに接続します。電源コードおよび AC アダプターが確実に接続されていることを確認します。

コンピューターの画面に何も表示されない場合

コンピューターの電源が入っているにもかかわらず画面に何も表示されない場合は、以下の原因が考えられます。

- コンピューターがスリープ状態になっている可能性がある。スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します。スリープは、ディスプレイの電源を切る省電力機能です。スリープは、コンピューターの電源が入っていても使用されていない場合、またはコンピューターがロー バッテリ状態になった場合に、システムによって開始されます。これらの電源設定およびその他の電源設定を変更するには、Windows デスクトップのタスクバーの右端の通知領域にある**[バッテリ]**アイコンを右クリックし、**[設定]**をクリックします。

- コンピューター本体のディスプレイに画像が表示される設定になっていない。コンピューター本体のディスプレイに画面表示を切り替えるには、fn ＋ f4 キーを押します。ほとんどのモデルで、モニターなどの別売の外付けディスプレイがコンピューターに接続されている場合は、コンピューター本体の画面か外付けディスプレイ、または両方のデバイスに同時に画像を表示できます。fn ＋ f4 キーを繰り返し押すと、コンピューター本体のディスプレイ、1 台以上の外付けディスプレイ、およびコンピューターと外付けディスプレイへの同時表示のどれかに表示が切り替わります。

ソフトウェアが正常に動作しない場合

ソフトウェアが応答しない場合または応答が異常な場合は、コンピューターを再起動するために、まずポインターを画面の右側に動かします。チャームが表示されたら、**[設定]**をクリックします。**[電源]**アイコン→**[シャットダウン]**の順にクリックします。

コンピューターが異常に熱くなっている場合

通常でも、コンピューターの使用中には熱が発生します。コンピューターが**異常に**熱い場合は、通気孔がふさがれていることが原因で過熱している可能性があります。

過熱の可能性が疑われる場合は、コンピューターの使用を中止してコンピューターの温度を室温まで下げ、コンピューターの使用中は通気孔を障害物でふさがないようにしてください。

警告！ 低温やけどをするおそれがありますので、ひざなどの体の上にコンピューターを置いて使用したり、肌に直接コンピューターが触れている状態で長時間使用したりしないでください。肌が敏感な方は特にご注意ください。また、コンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターが過熱状態になると、やけどやコンピューターの損傷の原因になる可能性があります。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。操作中に内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です。

外付けデバイスが動作しない場合

外付けデバイスが目的どおりに動作しない場合は、以下のことを行ってください。

- 製造元の説明書等の手順に沿って、デバイスの電源を入れます。
- デバイスを接続するケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認します。
- デバイスに十分な電力が供給されていることを確認します。
- デバイスがオペレーティング システムに対応していることを確認します（特に古いモデルの場合）。
- 適切なドライバーがインストールおよび更新されていることを確認します。

コンピューターを無線ネットワークに接続できない場合

コンピューターを無線ネットワークに正しく接続できない場合は、以下の作業を行います。

- 無線ネットワーク デバイスまたは有線ネットワーク デバイスの有効/無効を切り替えるには、Windows デスクトップのタスクバーの右端の通知領域にある**[ネットワーク接続]**アイコンを右クリックします。デバイスを有効にするには、対応するメニュー オプションのチェックボックスにチェックを入れます。デバイスを無効にするには、そのチェック ボックスのチェックを外します。
- 無線デバイスがオンになっていることを確認します。
- コンピューターの無線アンテナの周囲に障害物がないことを確認します。
- ケーブル モデムまたは DSL モデムおよびその電源コードが正しく接続されていて、ランプが点灯していることを確認します。
- 無線ルーターまたはアクセス ポイントを使用している場合は、電源アダプターおよびケーブルや DSL モデムに正しく接続され、ランプが点灯していることを確認します。
- すべてのケーブルをいったん取り外してから再び接続し、電源をいったん切ってから再び投入します。

別売の外付けオプティカル ディスクが再生されない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にスリープを開始しないでください。スリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[Play]**（再生）ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。

動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn ＋ f4 キーを 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニターの設定を行います。

   a. コンピューターの Windows デスクトップの空いている場所を右クリックして**[画面の解像度]**を選択します。

   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

別売の外付けディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。

C 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2 つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまった静電気を放電してください。

- 取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、正しくアースしてから電源コードを取り外し、その後カバーを外すなどの作業を行います。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。

静電気についての詳しい情報、または部品の取り外しや取り付けに関するサポートが必要な場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

索引

A
AC アダプター/バッテリ ランプ 10

B
BIOS
アップデートのダウンロード 76
更新 75
バージョンの確認 75
Bluetooth
デバイス 14, 20
ラベル 82

C
Caps Lock ランプ、位置 5
Computer Setup
BIOS administrator password（BIOS 管理者パスワード）56
DriveLock パスワード 58
移動および選択 73
工場出荷時設定の復元 74

D
DisplayPort
位置 9
接続 38
DriveLock パスワード
削除 60
設定 59
説明 58
入力 59
変更 60

E
esc キー
位置 8

F
f11 リカバリ 71
Face Recognition 36
fn キー
位置 8, 31

G
GPS 20

H
HD 対応デバイス、接続 38
HP Client Security 63
HP バッテリ チェック 43
HP モバイル ブロードバンド
無効化 19

J
Java Card
削除 47
定義 46
取り付け 46

M
microSD メディア カード スロット、位置 11

N
NFC アンテナ、位置 12
num lk キー、位置 32
Num Lock、外付けテンキー 33
num lock ランプ 5

S
SIM カード
取り付け 19
SIM カード スロット、プラグの位置 9
SoftPaq、ダウンロード 68

U
USB 3.0 ポート 9
USB ケーブル、接続 48
USB デバイス
削除 48
接続 48
説明 47
USB ハブ 47
USB ポート、位置 9, 11
USB レガシー サポート 73

V
VGA 出力端子、接続 37

W
Web カメラ
位置 12
使用 36
Web カメラ ランプ
位置 12
Windows
リセット 72
リフレッシュ 72
Windows アプリケーション キー
位置 8
Windows オペレーティング システムの DVD 71
Windows ボタン、位置 8

い
インターネット接続のセットアップ 16
インテル ワイヤレス・ディスプレイ 38

う
ウィルス対策ソフトウェア 62

お

オーディオ機能
　確認　35
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ
　位置　9
オーディオ入力（マイク）コネクタ
　位置　9
オプティカル ドライブ　49
音量
　キー　34
　調整　34
　ボタン　34
音量キー、位置　31

か

回転タッチパッド ジェスチャ　26
書き込み可能メディア　40
確認、オーディオ機能　35
各部
　ディスプレイ　12
　左側面　11
　表面の各部　4
　右側面　9
　裏面　13
画面の輝度のキー　31
画面表示、切り替え　31
完全なロー バッテリ状態　40
管理者パスワード　56

き

キー
　esc　8
　fn　8
　Windows アプリケーション　8
　音量　34
　ファンクション　8
キーボードのバックライト　31
キーボード ホットキー、位置　31
企業無線 LAN への接続　17
規定情報
　規定ラベル　82
　無線認定/認証ラベル　82
緊急アップデート、ソフトウェア　63
近距離無線通信アンテナ、位置　12

け

ケーブル
　USB　48

こ

公共無線 LAN への接続　17
コネクタ
　オーディオ出力（ヘッドフォン）　9
　オーディオ入力（マイク）　9
　装着　50
　電源　10
コンピューター
　清掃　66
　手入れ　66
　電源切断　39
　持ち運び　82, 85

し

システムの応答停止　39
自動 DriveLock パスワード
　削除　62
　入力　61
指紋認証システム、位置
　位置　7
　使用　65
シャットダウン　39
出力端子
　DisplayPort　9, 38
　USB　11
　VGA　37
　インテル ワイヤレス・ディスプレイ　38
　外付けモニター　37
使用
　省電力設定　40
省電力設定　40
シリアル番号、コンピューター　82
シリアル番号ラベル　82

す

スイッチ、電源　39
ズーム タッチパッド ジェスチャ　25
スクロール タッチパッド ジェスチャ　25
スピーカー グリル、位置　6
スマート カード
　削除　47
　スロット　11
　定義　46
　取り付け　46
スマート・コネクト・テクノロジー
　オプション　40
スリープ
　開始　40
　終了　40
スロット
　SIM　9
　スマート カード　11
　セキュリティ ロック ケーブル　11

せ

静電気対策　91
製品名および製品番号、コンピューター　82
セキュリティ
　無線　17
セキュリティ ロック ケーブル用スロット
　位置　11
セットアップ ユーティリティ
　移動および選択　73
　工場出荷時設定の復元　74
節約、電力　44

そ

外付けデバイス　49
外付けドライブ　49
外付けモニター コネクタ　37
ソフトウェア
　ウィルス対策　62
　緊急アップデート　63
　ディスク デフラグ　52
　ディスクのクリーンアップ　53
　ファイアウォール　63

た

タッチパッド
　使用　22
　ボタン　4
タッチパッド ジェスチャ
　回転　26
　ズーム　25

スクロール　25
ピンチ　25
タッチパッド ゾーン
位置　4
タッチパッド ランプ、位置　5

つ
通気孔
位置　11, 13

て
[ディスク クリーンアップ]ソフトウェア　53
[ディスク デフラグ]ソフトウェア　52
テンキー
位置　32
内蔵テンキー　8
テンキー、外付け
Num Lock　33
使用　33
電源
オプション　40
節約　44
バッテリ　42
電源オプションの設定　40
電源コネクタ
位置　10
電源スイッチ　39
電源ボタン
位置　6
使用　39
電源ランプ　5

と
動作環境　84
ドッキング コネクタ、使用
位置　9
使用　50
ドッキング デバイスの穴、位置　13
ドライブ
オプティカル　49
使用　52
外付け　49
ハード　49
ドライブ メディア　40
トラブルシューティング
外付けディスプレイ　90
ディスク書き込み　90
ディスクの再生　90

な
内蔵 Web カメラ ランプ
位置　12
内蔵ディスプレイ スイッチ　12
内蔵テンキー
位置　8, 32
内蔵マイク
位置　12

に
入力電源　83

は
ハードドライブ
外付け　49
復元　71
ハイバネーション
開始　41
終了　41
パスワード
BIOS 管理者　56
DriveLock　58
管理者　56
ユーザー　56
バッテリ
充電残量の表示　43
状況の確認　42
節電　44
放電　43
ロー バッテリ状態　43
バッテリ電源　42
ハブ　47

ひ
ビデオ　36
表示画面、切り替え　31
ピンチ タッチパッド ジェスチャ　25

ふ
ファイアウォール ソフトウェア　63
ファンクション キー
位置　8
復元　72
復元用パーティション　71
復帰時のパスワード保護の設定　41

へ
ヘッドフォン（オーディオ出力）コネクタ　9
別売の外付けデバイス、使用　49

ほ
ポインティング デバイス
カスタマイズ　22
ボタン
Windows ボタン　8
音量　34
電源　6, 39
左のタッチパッド　4
右のタッチパッド　4
ホットキー
音量の調節　31
画面の輝度を上げる　31
画面の輝度を下げる　31
画面を切り替える　31
キーボードのバックライト　31
使用　31
スピーカーの音量を上げる　31
スピーカーの音量を下げる　31
スリープ　31
説明　31
タッチパッド オン/オフ切り替え機能　31
マイクの消音　31

ま
マイク（オーディオ入力）コネクタ
位置　9
マイクの消音ランプ　5
マウス、外付け
オプションの設定　22

む
無線 LAN アンテナ
位置　12
無線 LAN デバイス　15, 82
無線 LAN のセットアップ　16
無線 LAN への接続　17
無線 LAN ラベル　82

無線 WAN アンテナ、位置　12
無線 WAN デバイス　14, 18
無線アンテナ、位置　12
無線コントロール
　オペレーティング システム　14
　ボタン　14
無線認定/認証ラベル　82
無線ネットワーク（無線 LAN）
　企業無線 LAN への接続　17
　公共無線 LAN への接続　17
　使用　15
　セキュリティ　17
　接続　17
　動作範囲　18
　必要な機器　16
無線ボタン　14
無線ランプ　5, 14

め
メディア カード　40
　削除　45
　サポートする形式　45
　取り付け　45
メンテナンス
　ディスク デフラグ　52
　ディスクのクリーンアップ　53

も
持ち運び、コンピューター　85
問題、解決　88

ゆ
ユーザー パスワード　56

よ
読み取り可能メディア　40

ら
ラベル
　Bluetooth　82
　規定　82
　シリアル番号　82
　無線 LAN　82
　無線認定/認証　82
ランプ
　AC アダプター/バッテリ　10
　Caps Lock　5
　Num lock　5
　Web カメラ　12
　タッチパッド　5
　電源　5
　マイクの消音　5
　無線　5

り
リセット　72
リフレッシュ　72

れ
レガシー サポート、USB　73

ろ
ロー バッテリ状態　43